

君が変わる季節



R18
ADULT ONLY
成人向け作品につき
18歳未満閲覧禁止



夏が来るたびに思い出す…



ええッ!?

亜子姉ちゃん！
ボク病気に
なっちゃった！

ギュッ



それって…
あ！

朝起きたら
おちんちんから
ネバネバしたのが
出てて…



ナオくん？
どうしたの？

ハッ
ハッ



はい
どうぞ



おめでとう！
ナオくん！

？



ますたーべーしょん？



これからおちんちんが
ムズムズしてくることがあるから
その時はマスターベーションをして
精液をおちんちんから出してあげてね！



うん！ 心配しなくても大丈夫！
男の子はナオ君くらいの年齢になると
精液っていう赤ちゃんの元が
おちんちんから出るようになるの

じゃあボク
病気じゃないの？



かバツ

それってどうやるの？
やってみせて！

え？



チュー



「……っやってね？」

ビクッ
ビクッ



ほら早く！

やってみせるって…
あの…えっと…



あッ♡

ビクッ
ビクッ



ナオくん…おちんちんもっと
気持ち良くしてほしい…？

うん…

じゃあ ベッドに
寝て…



あ…亜子姉ちゃん
それ気持ちいい…

……

ドキッ
ドキッ

ヒクッ
ヒクッ



あッあッ♡
亜子姉ちゃ…ッ♡

ちゅくっ
ちゅくっ

ちゅくっ
ちゅくっ

あッ♡

あッ♡



大丈夫だよ…お姉ちゃんが全部受け止めてあげる…

出ちゃうッ♡

おしっこ 出ちゃうッ♡

おしっこ

ちゅくっ

ちゅくっ

ちゅくっ

ちゅくっ

ちゅくっ

ちゅくっ



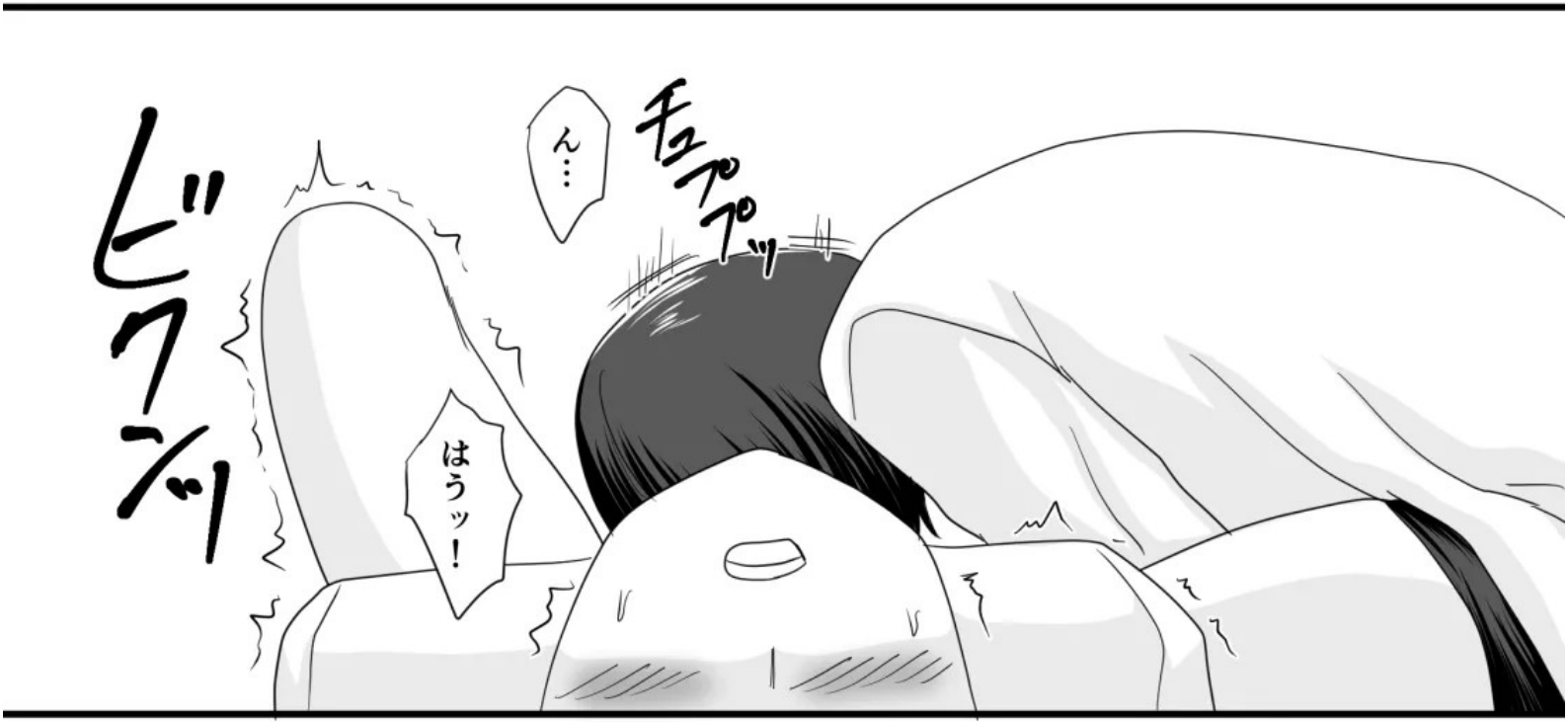
ナオくんのおちんちん…

キレイに
しなくちゃ…

ハハ…

ハハ…

ハハ…



ビクッ

ん…

フュッ

はうッ!



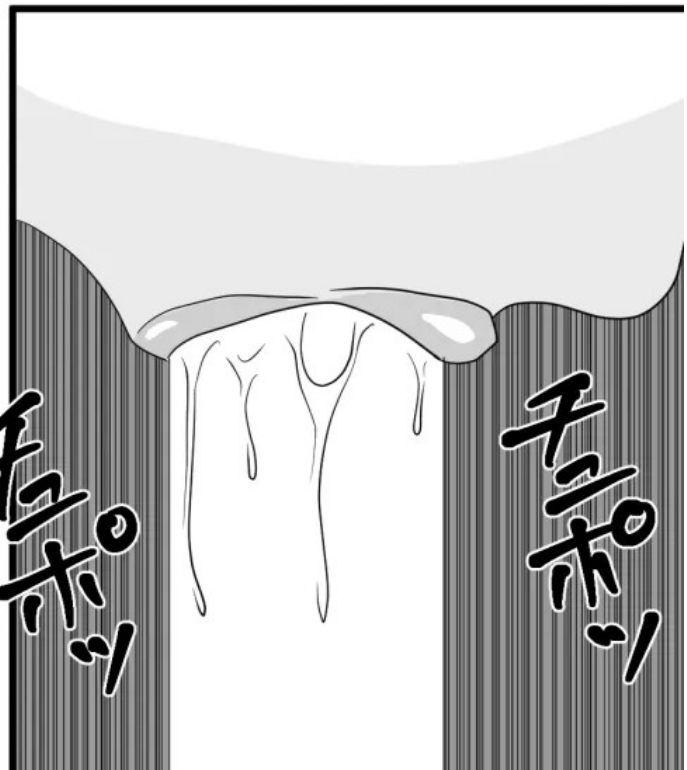
なに…これ…
キモチイッ♡

あッあッ♡
亜子姉ちゃん♡

チュポッ

チュポッ

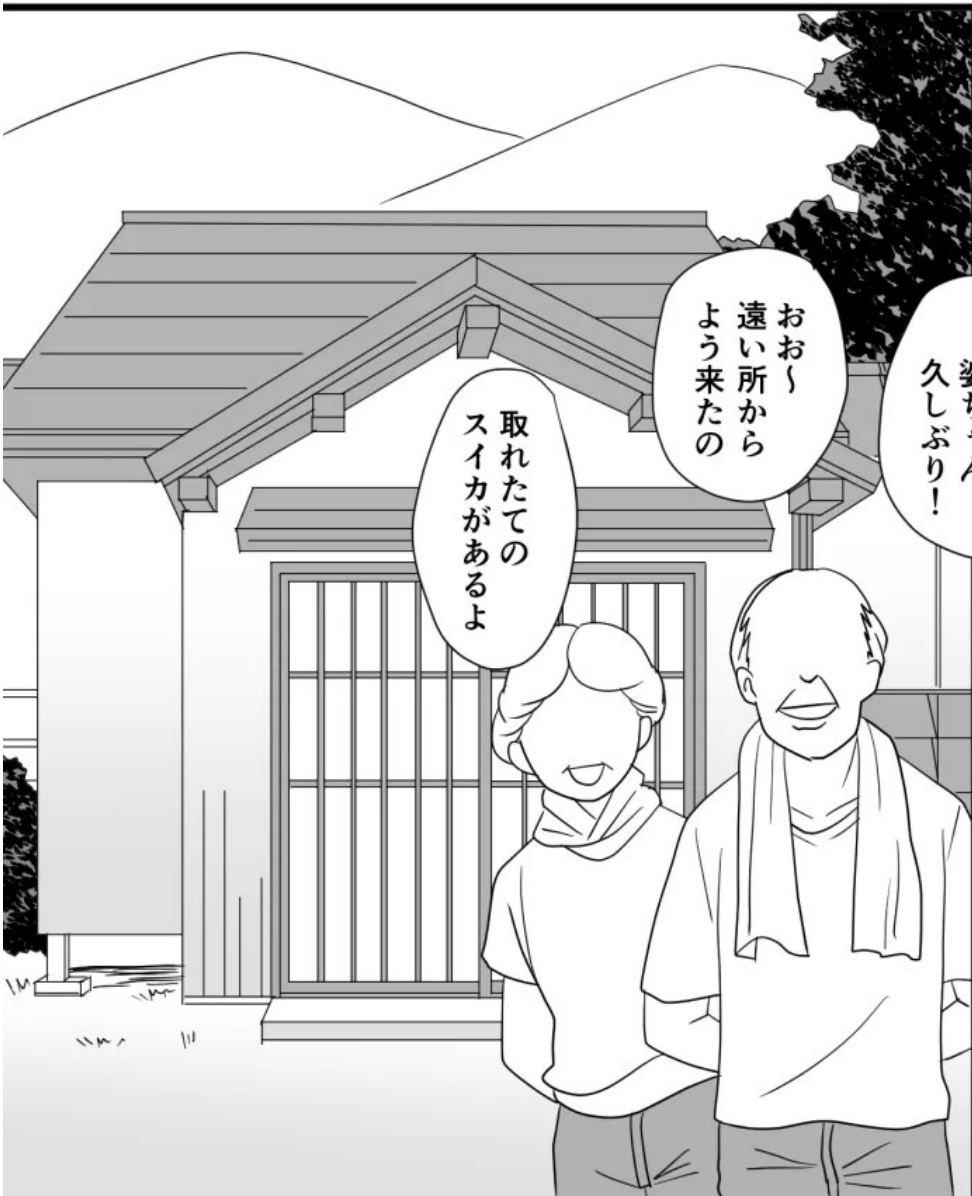
チュポッ



チュポッ

チュポッ





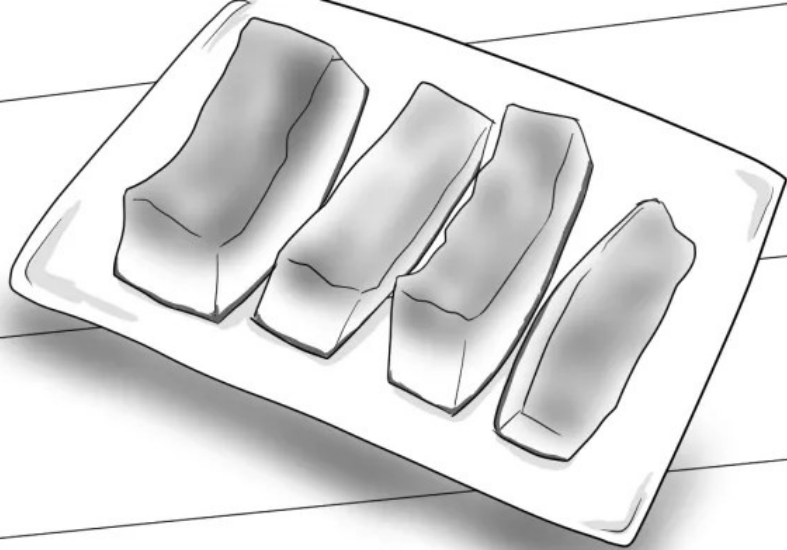
取れたての
スイカがあるよ

おおく
遠い所から
よう来たの



爺ちゃん
婆ちゃん
久しぶり!

おいしかったかい？



亜子にも一個
持って行って
あげて

亜子さん
元気にしてるかな…

この辺
全然変わってないや



あれ？

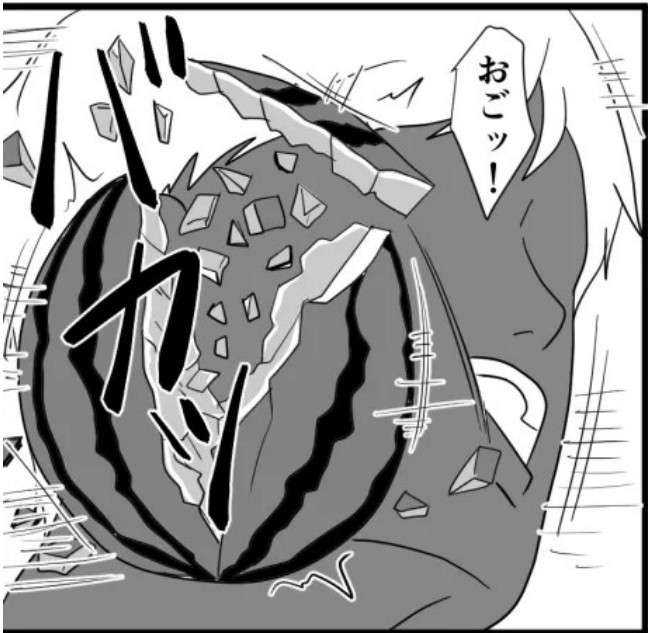
亜子さん？



なあ
考え直してくれよ

しつこいわね！
あんたとはもう
別れるって言ったでしょ！







食い物を粗末にするんじゃねえっ!

きゃあッ!

ドカッ

ズニャッ

ぐッ



キッ

うう...ッ



帰ってよ！
警察呼ぶわよ！



この子を傷つけるのは
絶対に許さないから！

カッ、悪い…
守ろうと思っただのに
逆に守られるなんて…

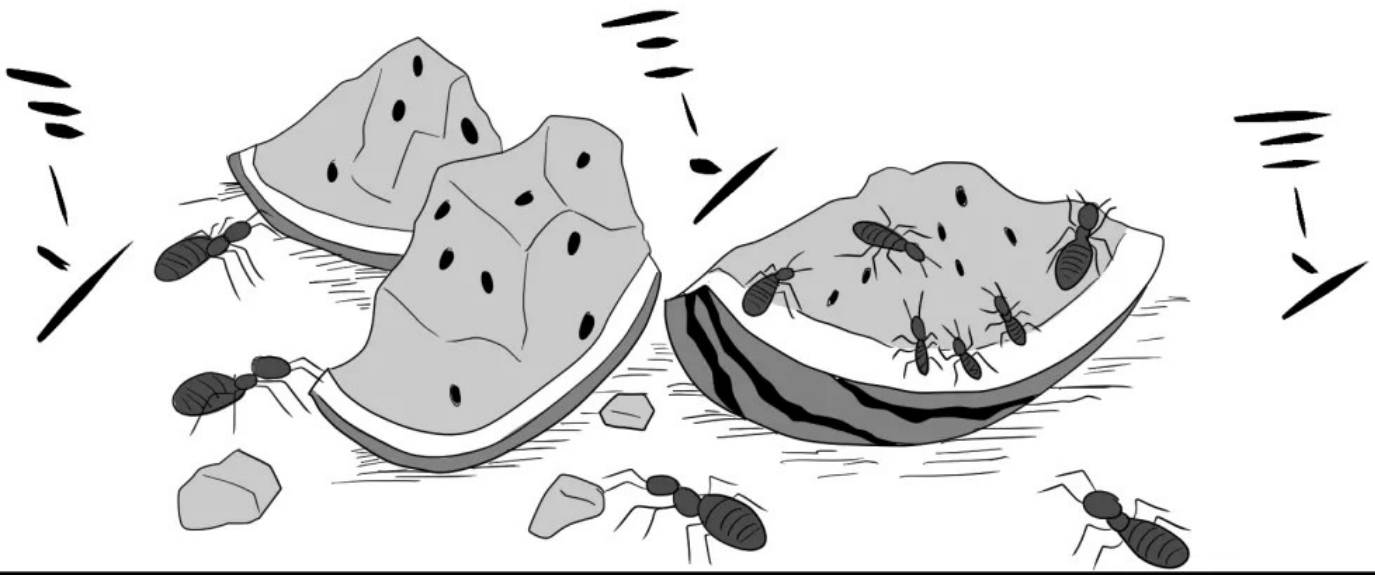


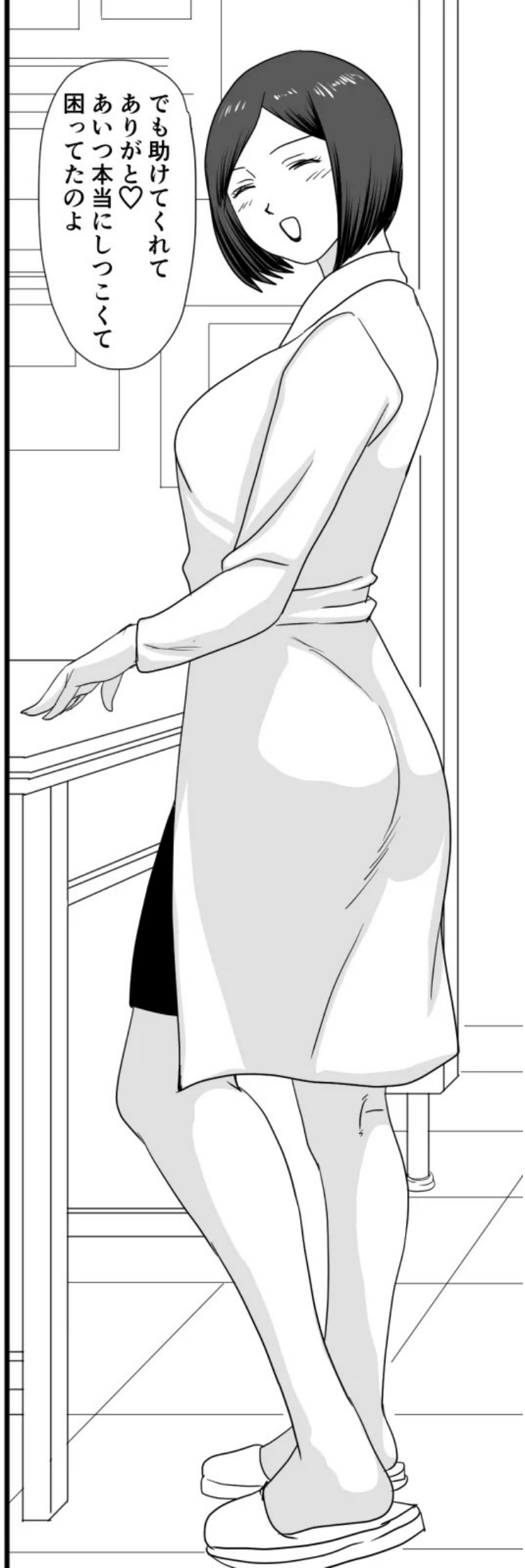
チッ

なんの騒ぎだ？



俺は絶対に
別れないからな！







ドサッ

きゃあッ!



亜子さん…
俺のことまだ
ガキだと思ってるだろ…



もう亜子さんに
悪戯された時の
俺じゃないからな!!



ナオくん
あの時のこと
覚えてたの…?



ちよっと!
どうしちゃったのよ!?
ナオくん!?

ギンッ



んんんんん

んふうッ!!



ブキョッ

んんんんん!?



忘れるわけ
ないだろ…ッ



んんんんん!!

んうッ!!

バァッ

バァッ

バァッ

バァッ



フキョッ

んッ

フキョッ

んッ

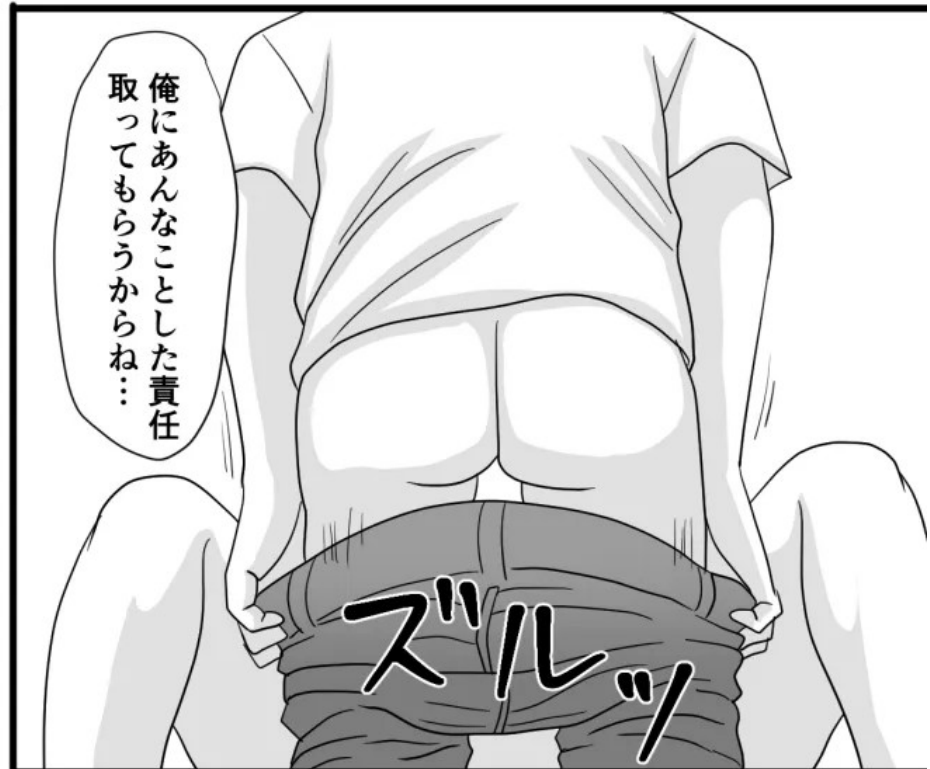


グキョッ

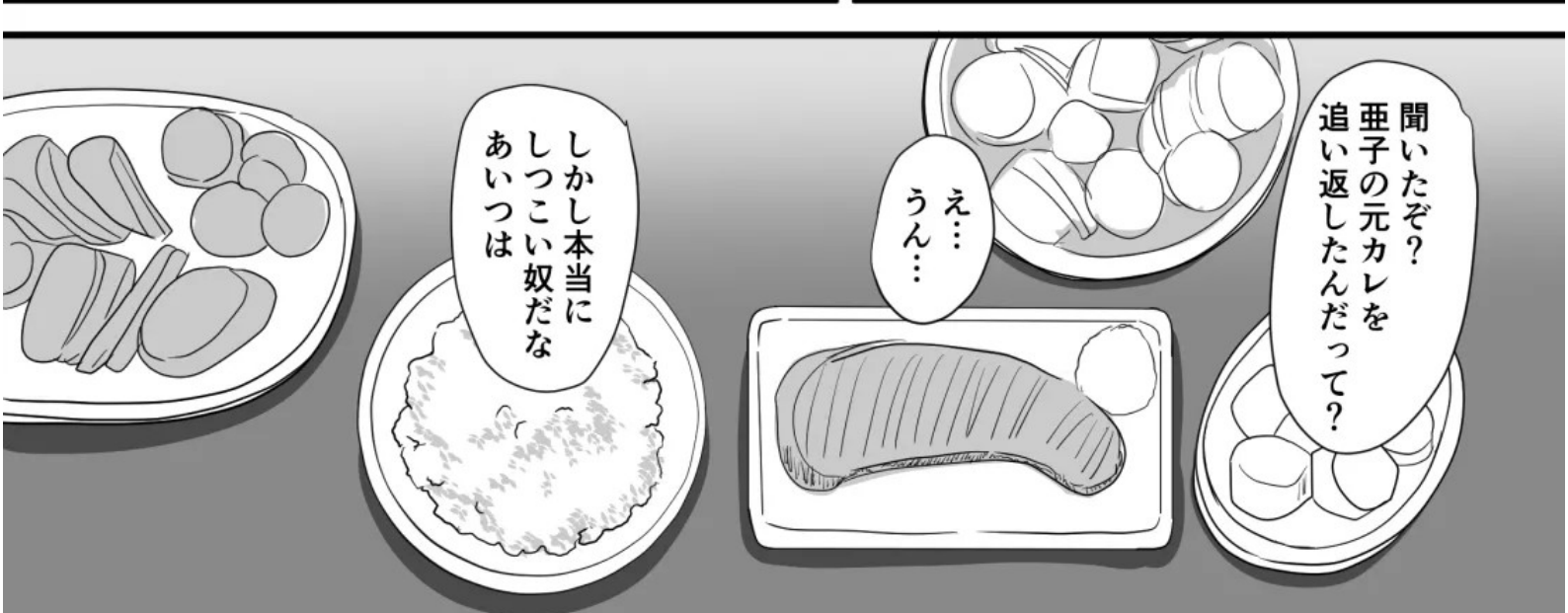
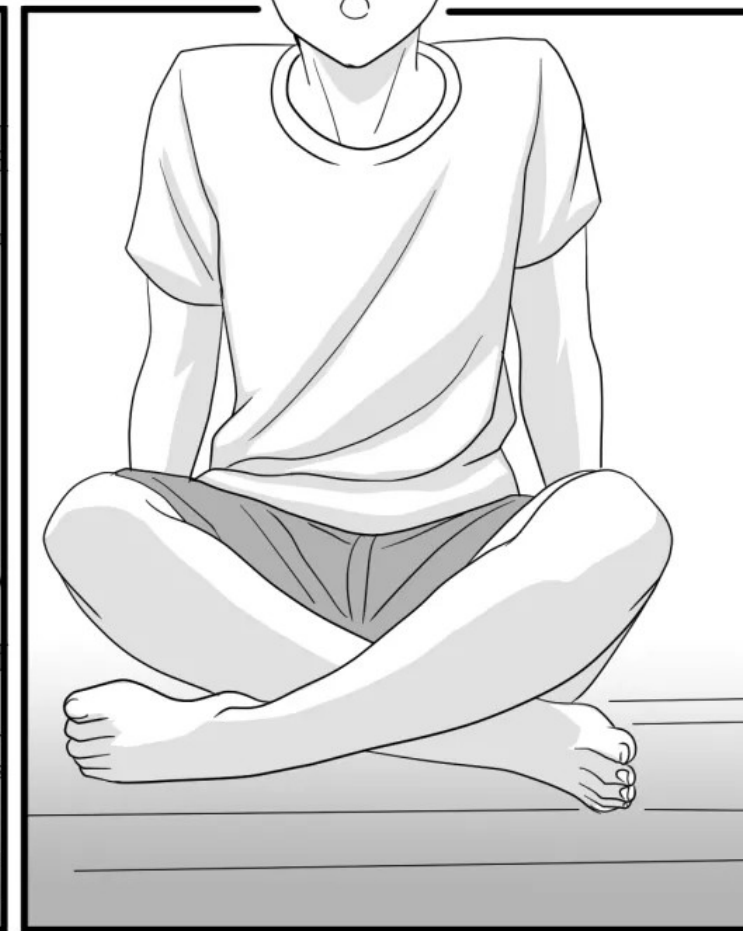
んうッ!

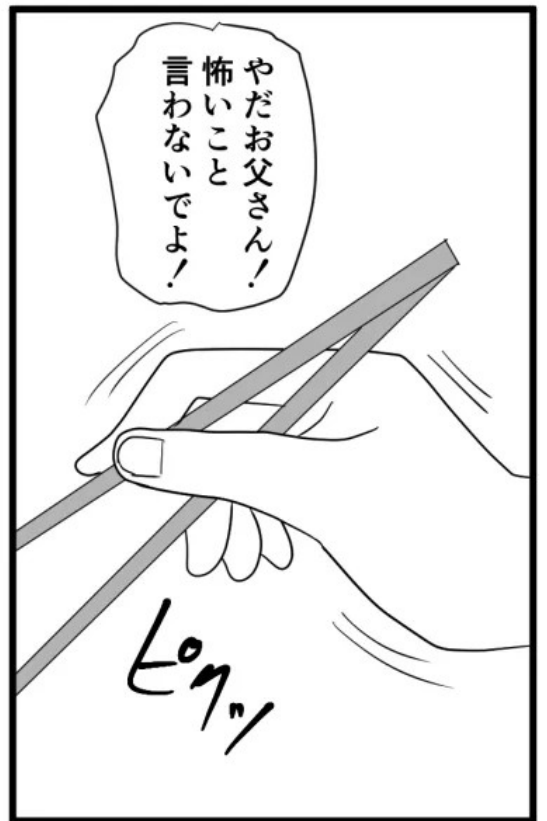
んッ!

ふッ!










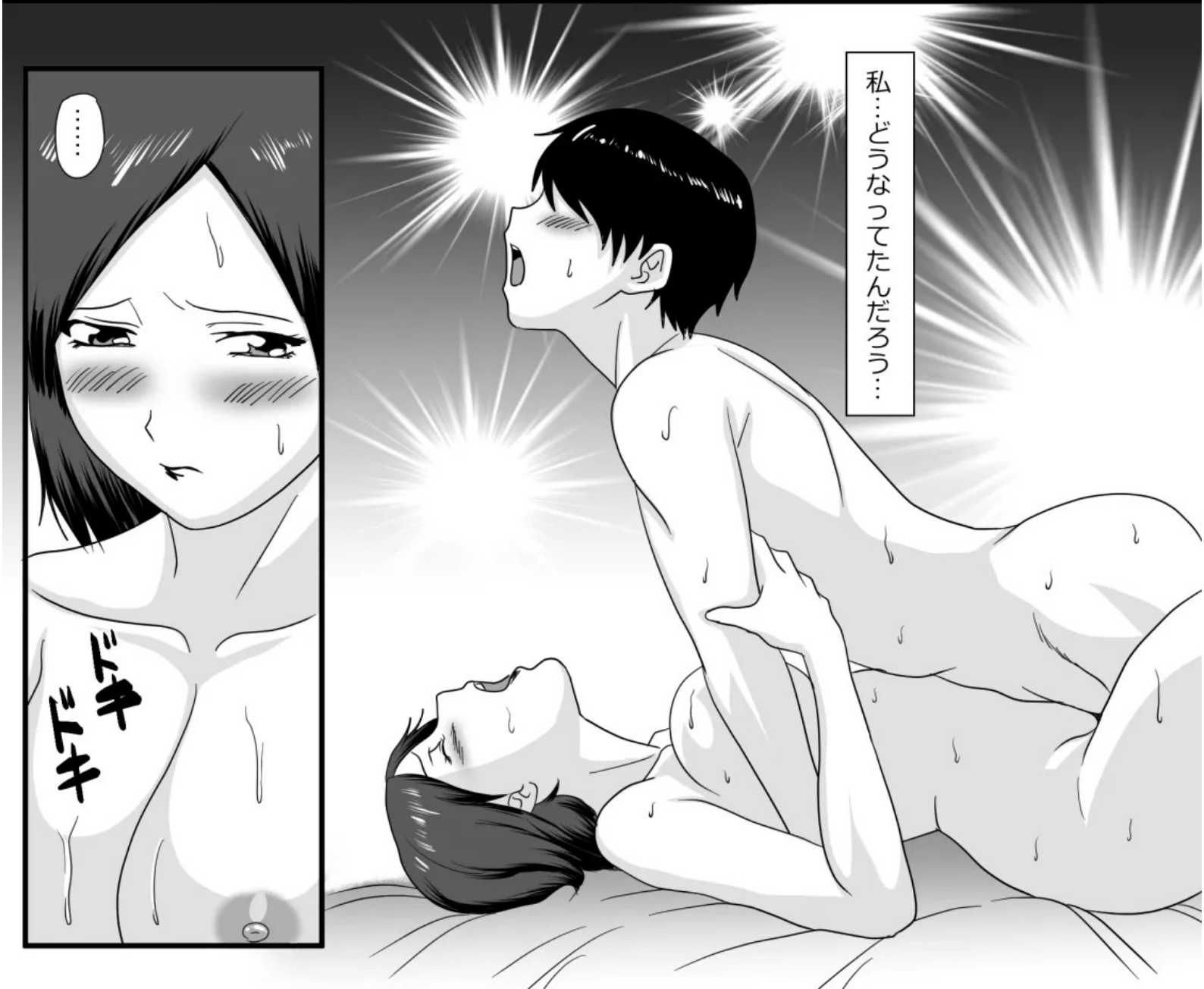


ナオくん…
久しぶりに会えて嬉しかったけど
私が悪戯したせいで
あんなに思い詰めてたなんて…





もしフェラチオだけじゃ
収まってくれなくて
強引に挿入されてたら…



私…どうなってたんだらう…



……

キツキツ



チャッ

ドクドク

イクネ...♡

あッ♡

ドクドク

はッ♡

ドクドク

はッ♡

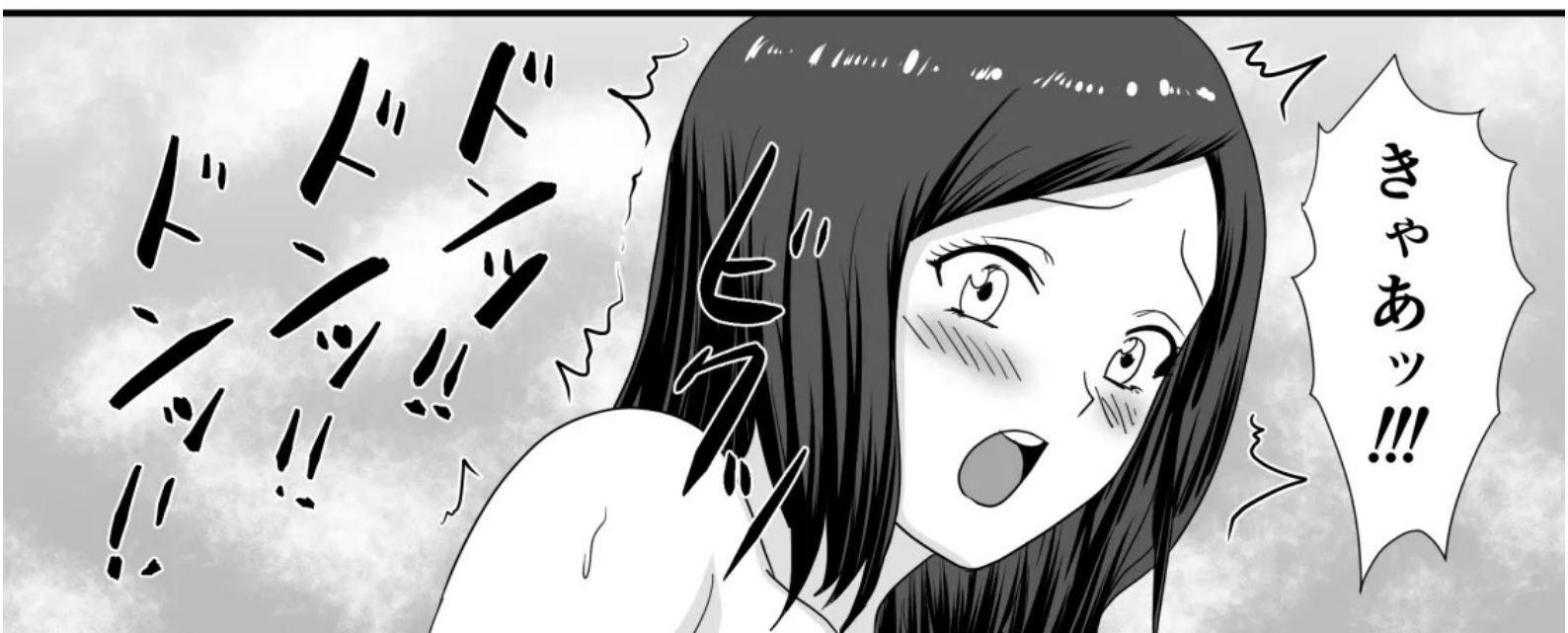
チャッ

ゾクゾク

あッアッ♡
イクッ♡

チャッ

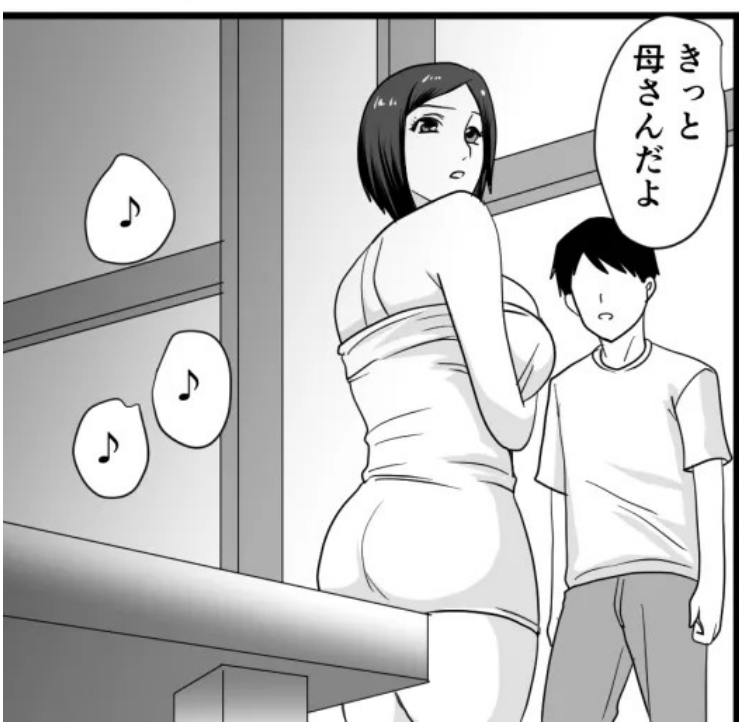
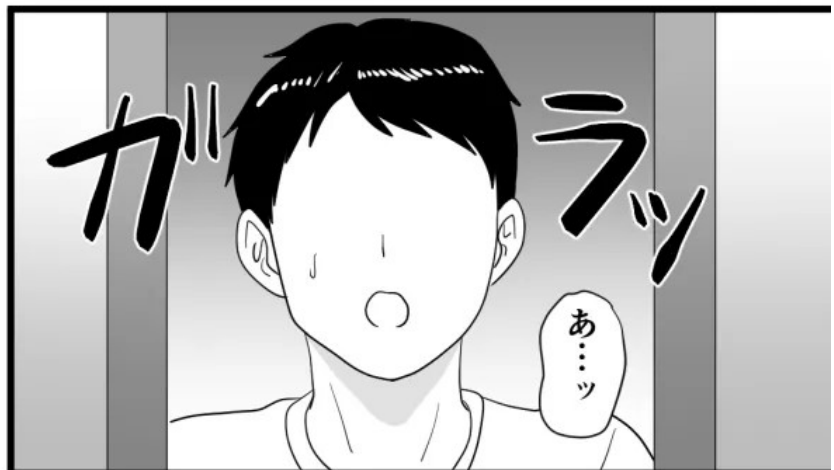
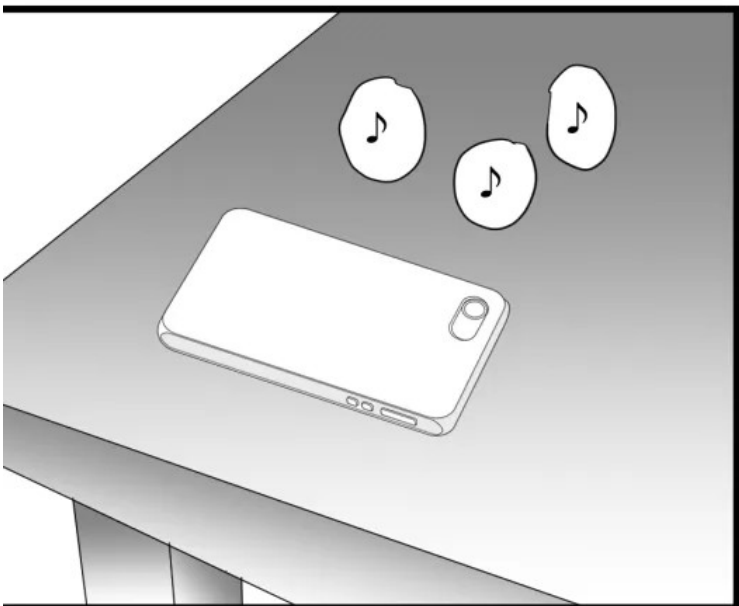
チャ



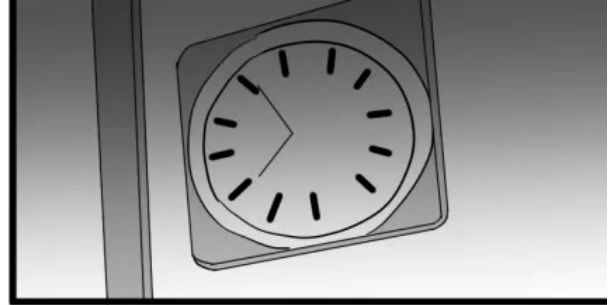
ドクドク

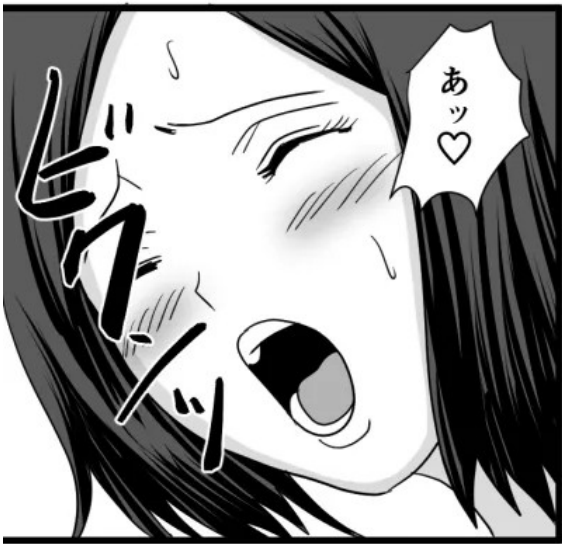
ドクドク

きゃあッ!!!









亜子さんのここ…
すごく濡れてる…

ねえ…
亜子さん…
いいでしょ？

ダメ…ツ

私たちはそんな関係になっちゃういけないのよッ!?

クチュ
クチュ
クチュ
クチュ

グイッ

…ツ!!

ああッ!!

ダメだってばあッ!!

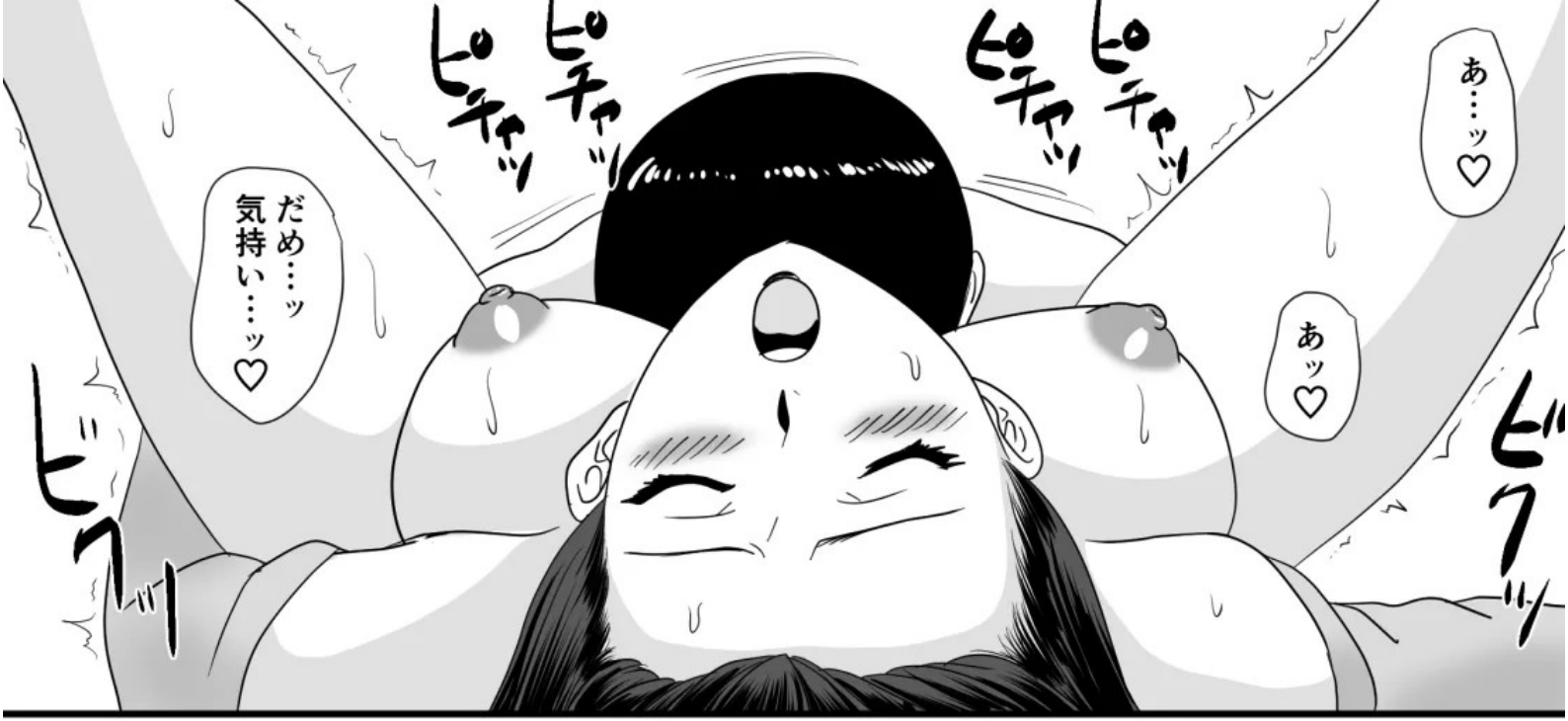
カバ

きやあッ

これが…
亜子さんの…

いやあッ!!
見ないでッ!!





だめ…ッ
気持ち…ッ♡

あ…ッ♡

あッ♡



ナオくん…♡

あ…んッ♡
あッ♡

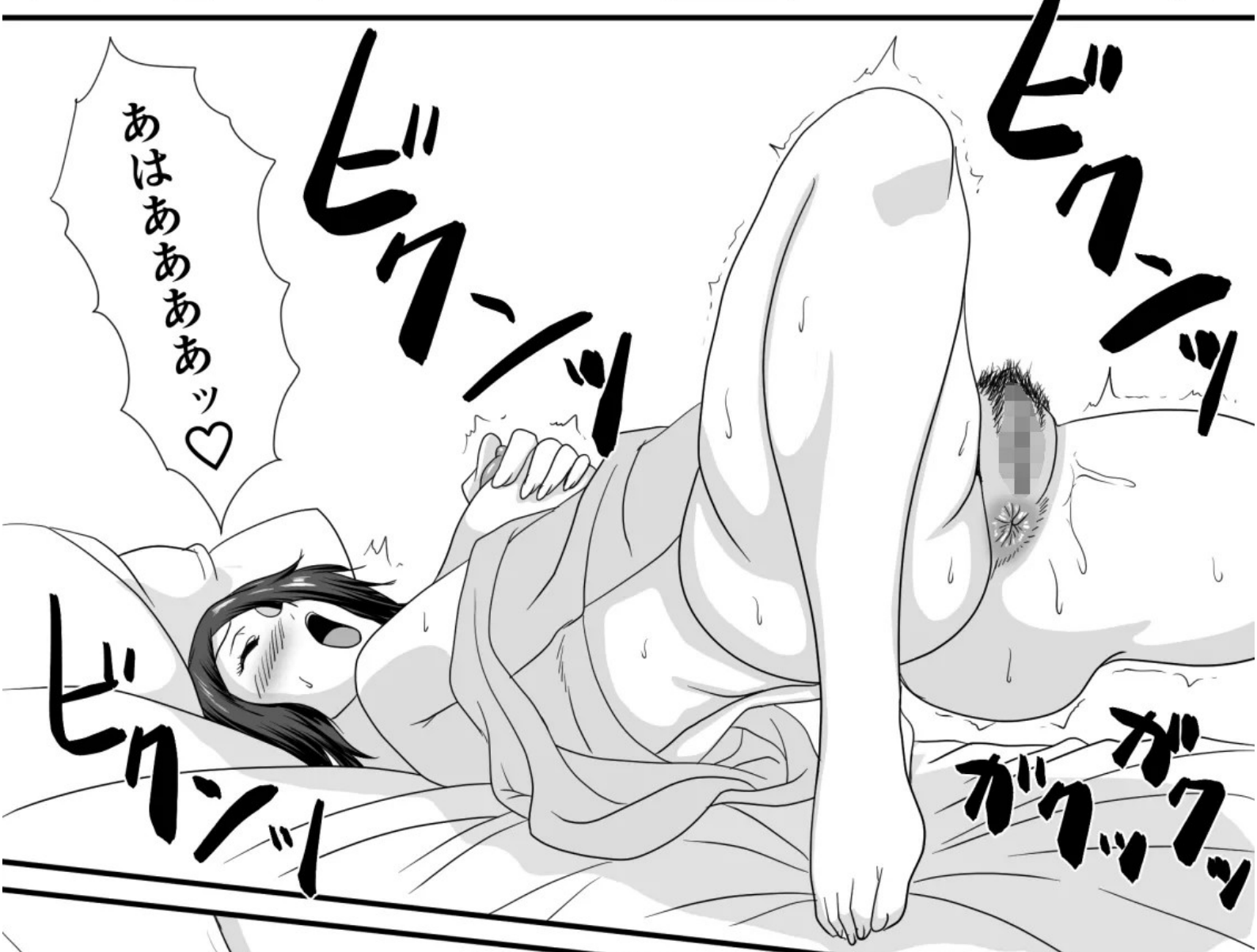
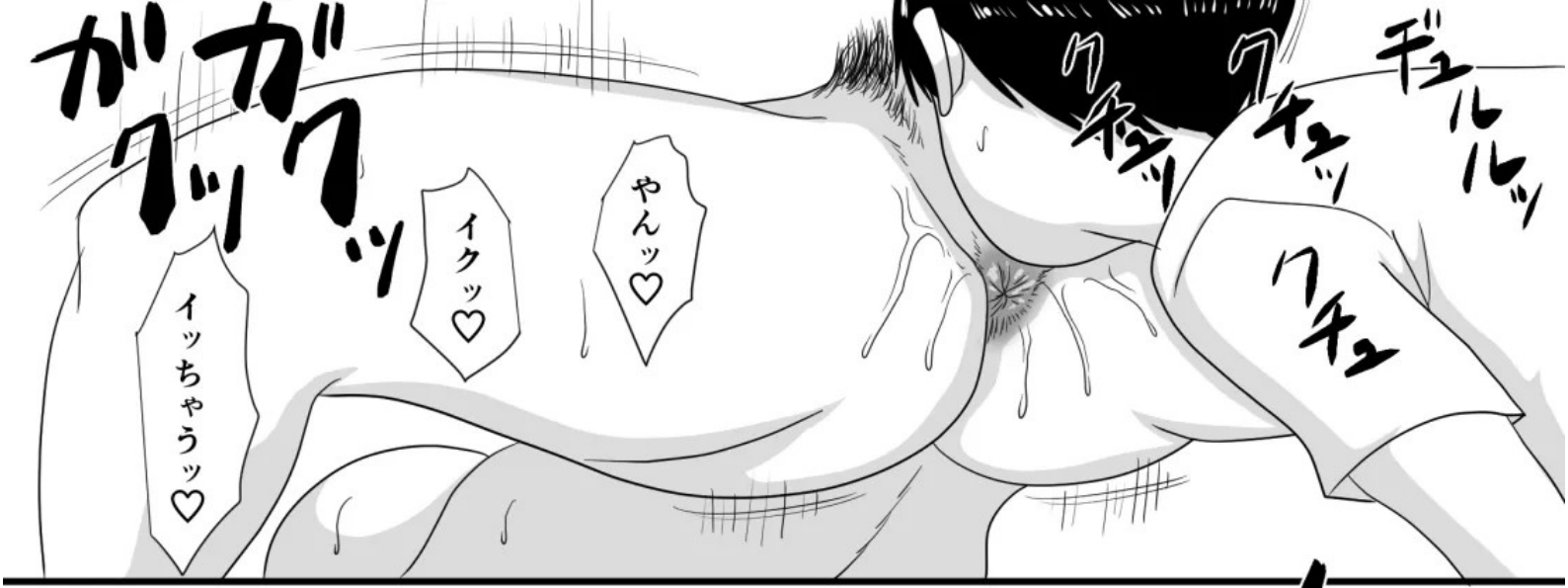
こんなの
どこで覚え…アッ♡



やッあッ♡
そこ…ッ♡

吸っちゃダメメッ♡

あ…私…
もう…イッ♡

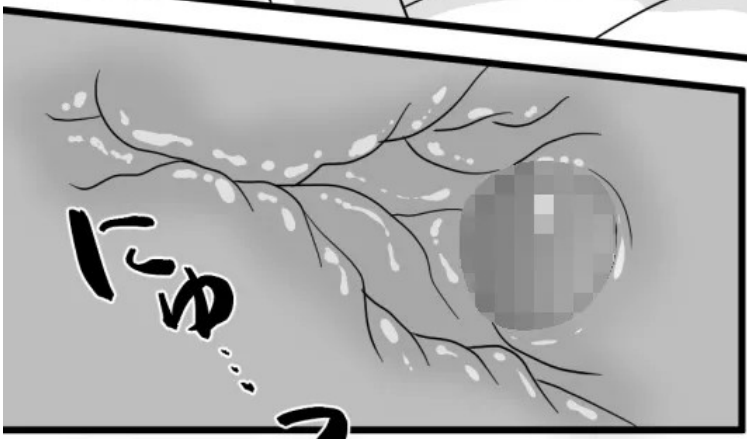




そう…
そのまま
ゆっくり腰を前に
突き出して…

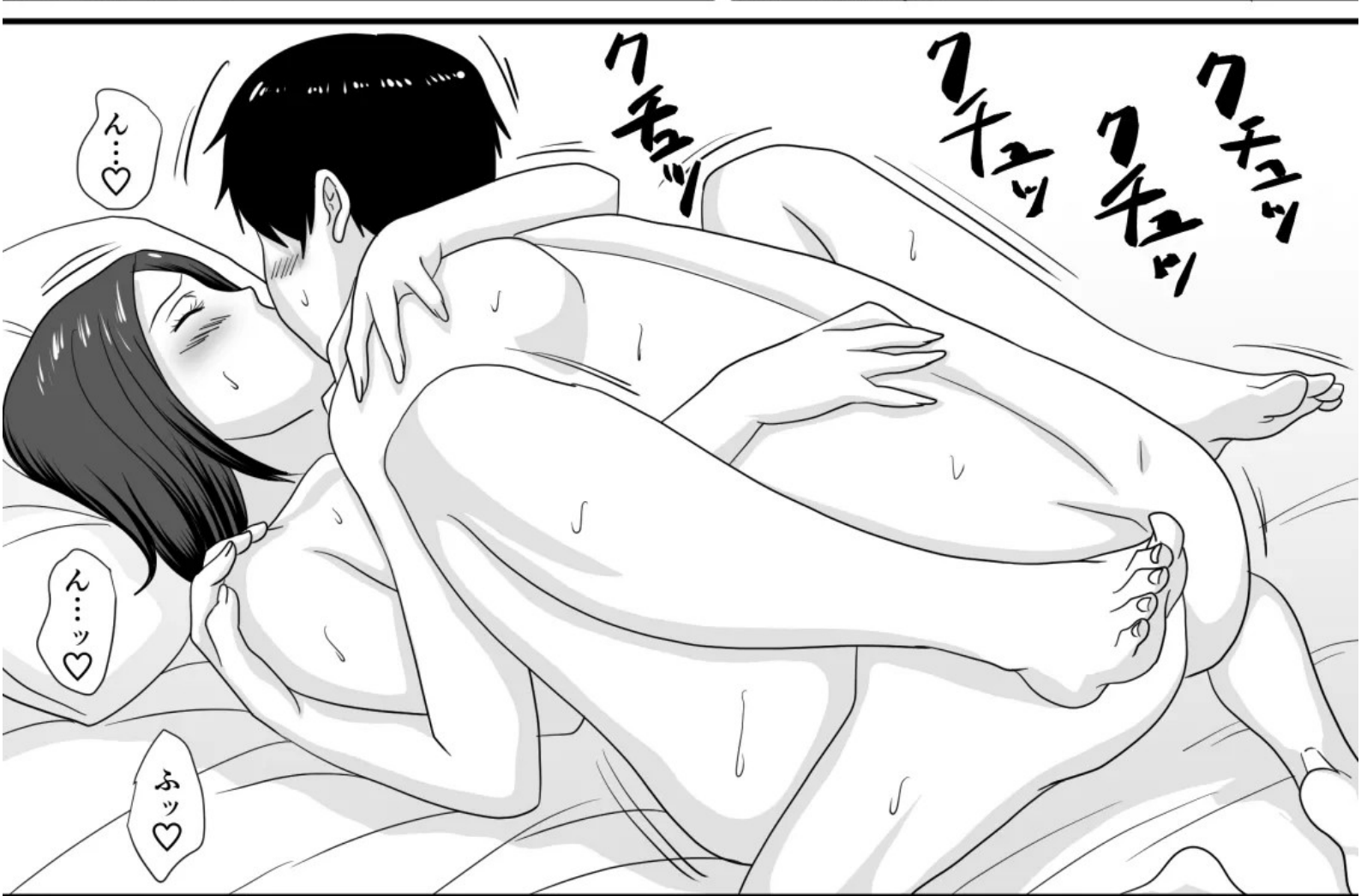
んん…

落ち着いて…
もう少し下…



ついに亜子さんと
セックスできる…ッ



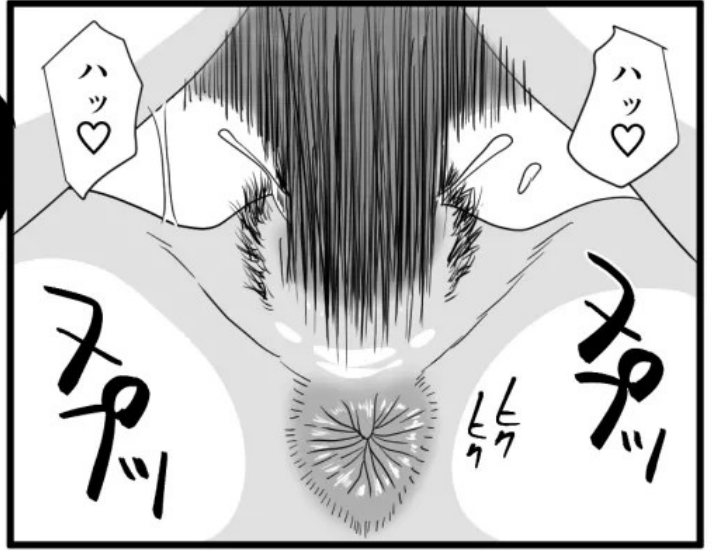




ナオくん…ホントに初めてのセックスなの？

あッ♡

あッ♡

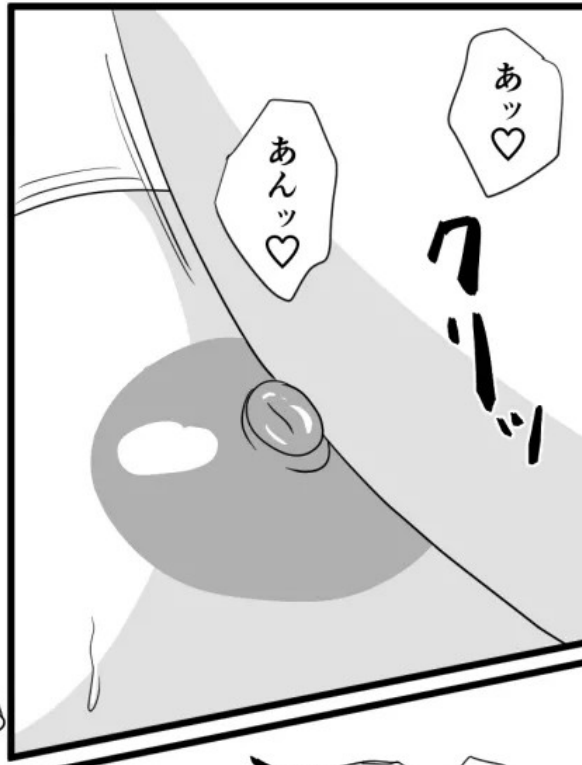


ハッ♡

ハッ♡

フアッ

フアッ



あッ♡

あんッ♡

フアッ



あッ♡

あッ♡

すごくステキ♡

フアッ

フアッ

フアッ

フアッ

フアッ



すごい…
これが女の人の…

なんて気持ちいい…

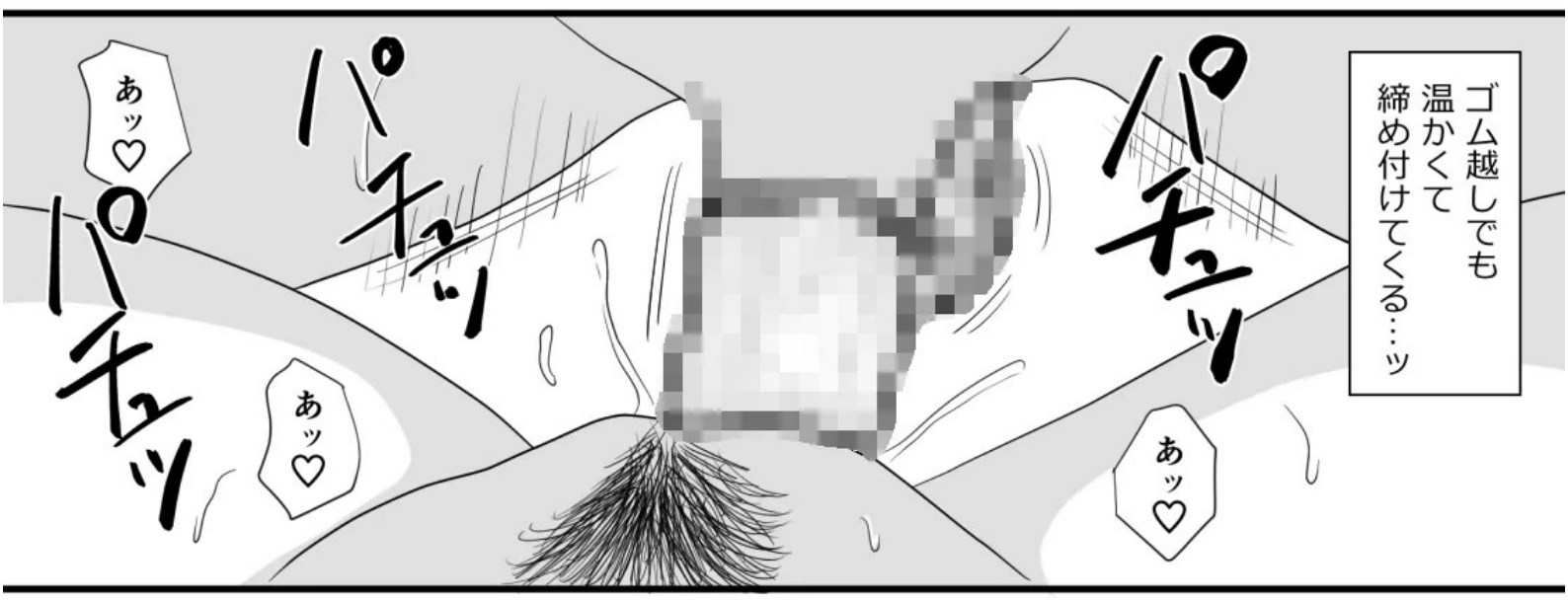
あんっ♡

あっ♡

アッ

アッ

アッ



ゴム越しでも
温かくて
締め付けてくる…っ

あっ♡

パチパチ

パチパチ

あっ♡

あっ♡

パチパチ



それにこの征服感…っ

あっあっ♡

パチパチ

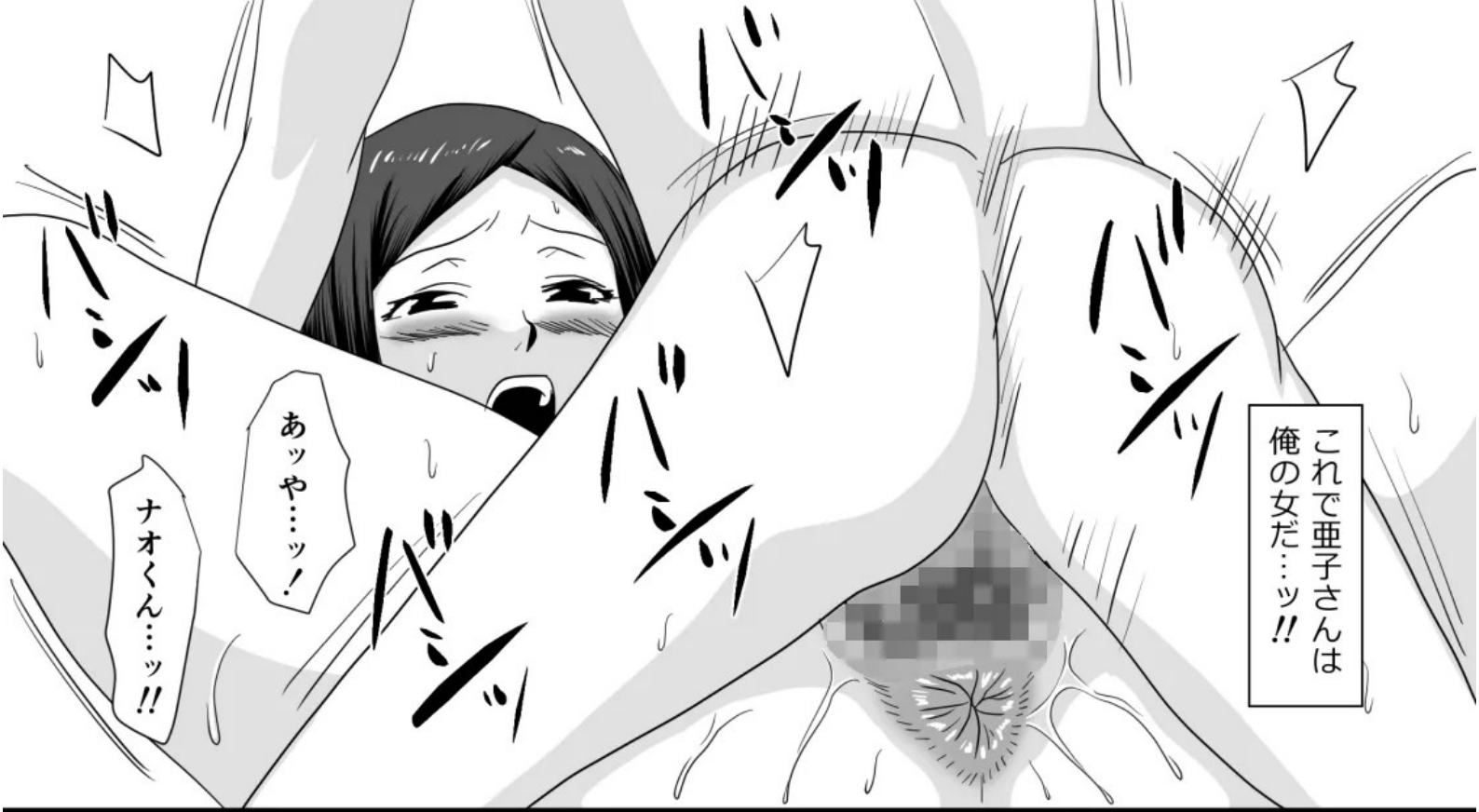
あんあっ♡

パチパチ

パチパチ

腰を打ち付けて
声を上げさせるのが
こんなにも気分いいなんて…

あっ♡



これで亜子さんは
俺の女だ…ッ!!

あッや…ッ!

ナオくん…ッ!!



あ…おッ
お願い…

もう少し
優しく…

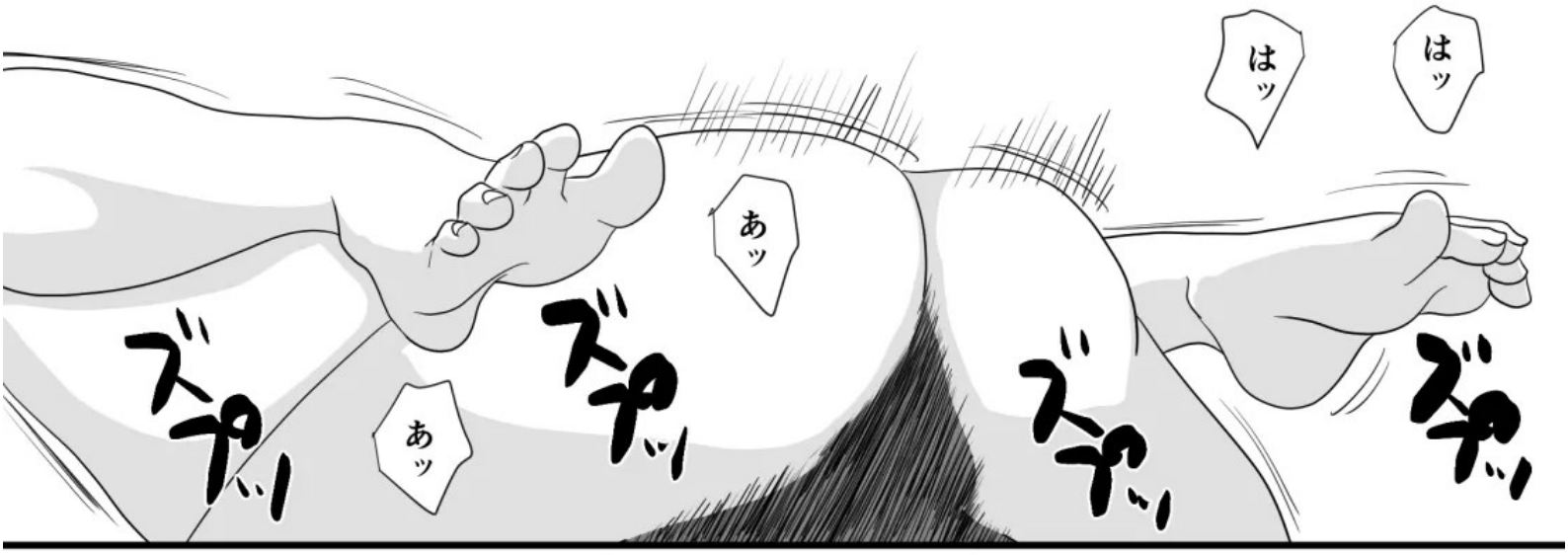
ガクッ
ガクッ

ガクッ
ガクッ

ブルッ

ブルッ

亜子さんの哀願も耳に入らず
俺は目の前の女のカラダで
イクことしか考えられなかった…



乱暴にしちゃって
ごめん…
俺、興奮しすぎて…



気にしないで…
男の子がイク時は
どうしても激しく
しちゃうものだって
分かってるから…

今でもまだ
信じられない…

小さい頃から知ってる
ナオちゃんと男女の関係に
なるなんて…

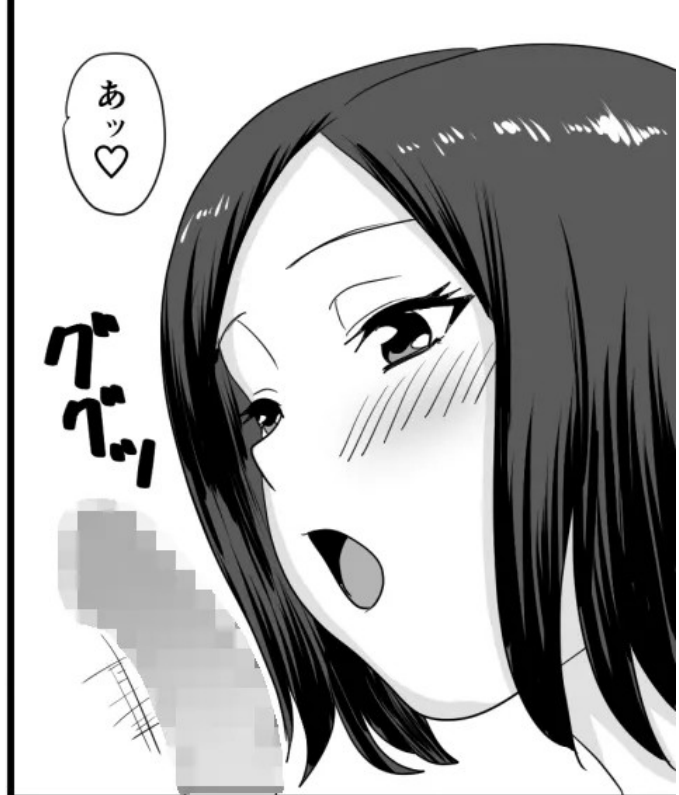
このことは誰にも
言っちゃだめよ？

分かってるよ
絶対に誰にも言わない

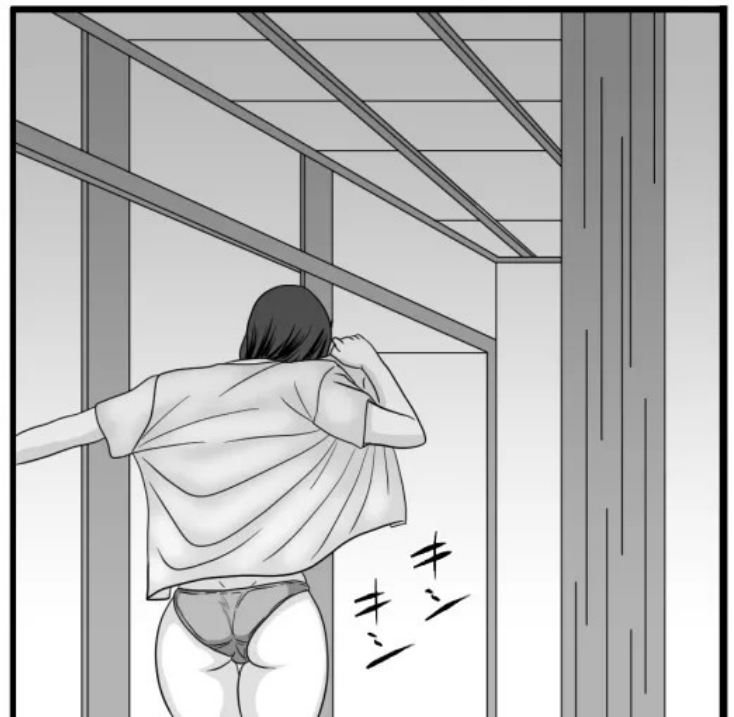
いいコね♡

ナオ♡









ガアアアツ

バサバサ



え...?

ソックツ



よう...

んんッ!!

聞いたぞ?
あのガキ
お前の甥なんだってな

カリッ
バツ

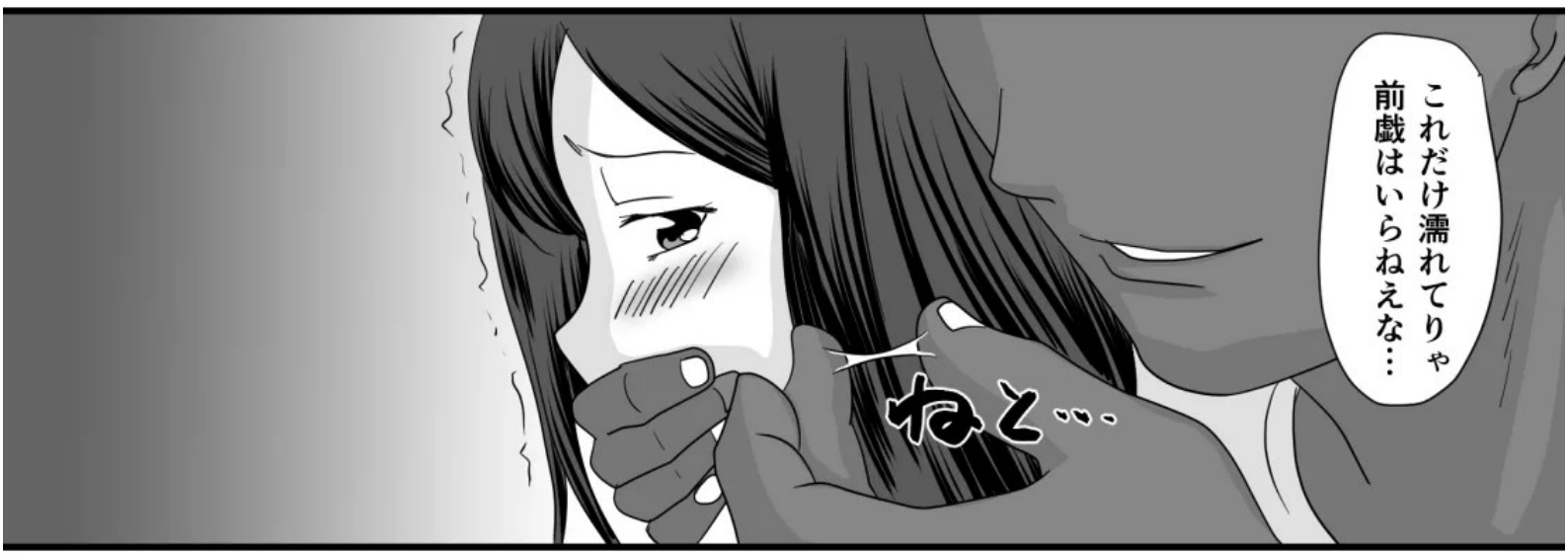
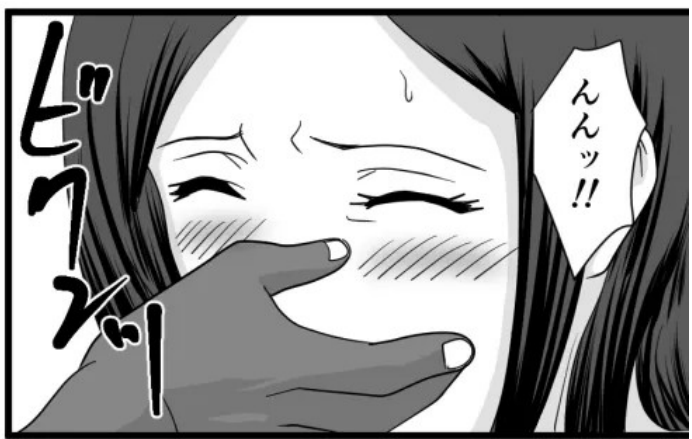
スリ...

まさか自分の甥と
セックスに耽るとはねえ...

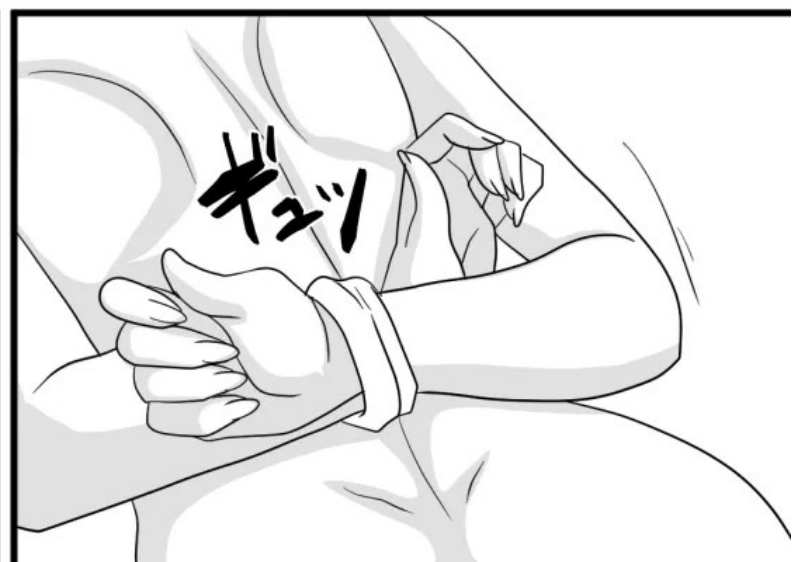


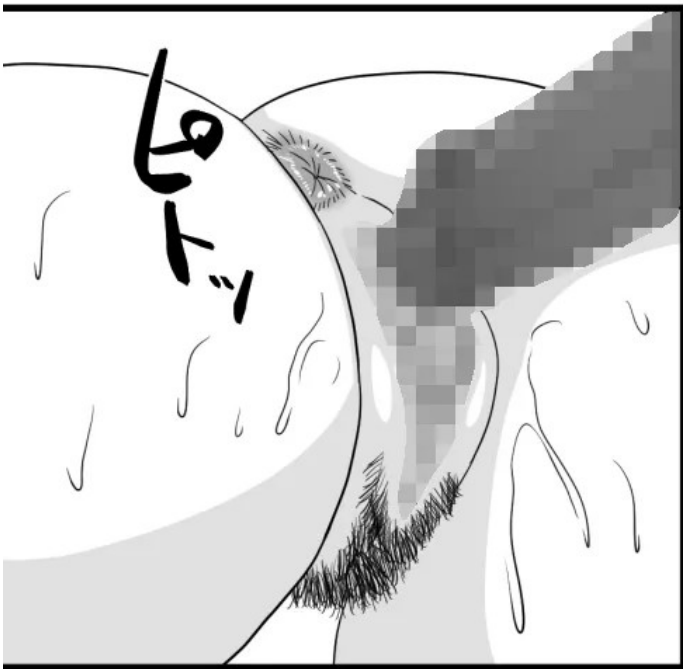
ヌレヌレじゃねえか：
そんなに甥とのセックスが
よかったか？

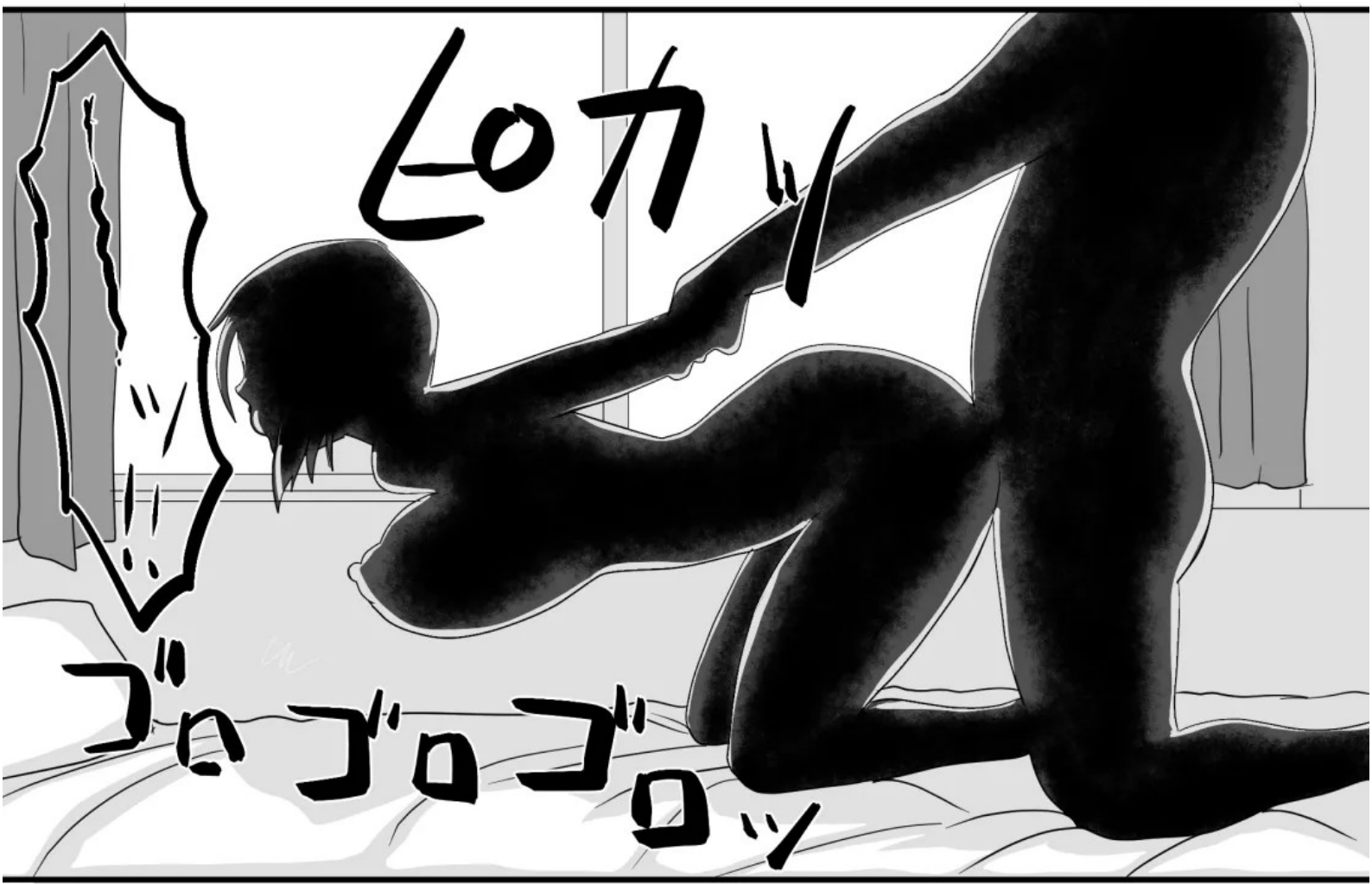
俺が侵入したことにも
気付かないくらい
没頭してたもんなあ：



これだけ濡れてりや
前戯はいらねえな：









俺が処女膜
破ってやった時も
バックからだったよな？

ズキッズキッ

痛…ッあッ!!

痛あいつ!!

ズキッ
ズキッ

ズキッ
ズキッ



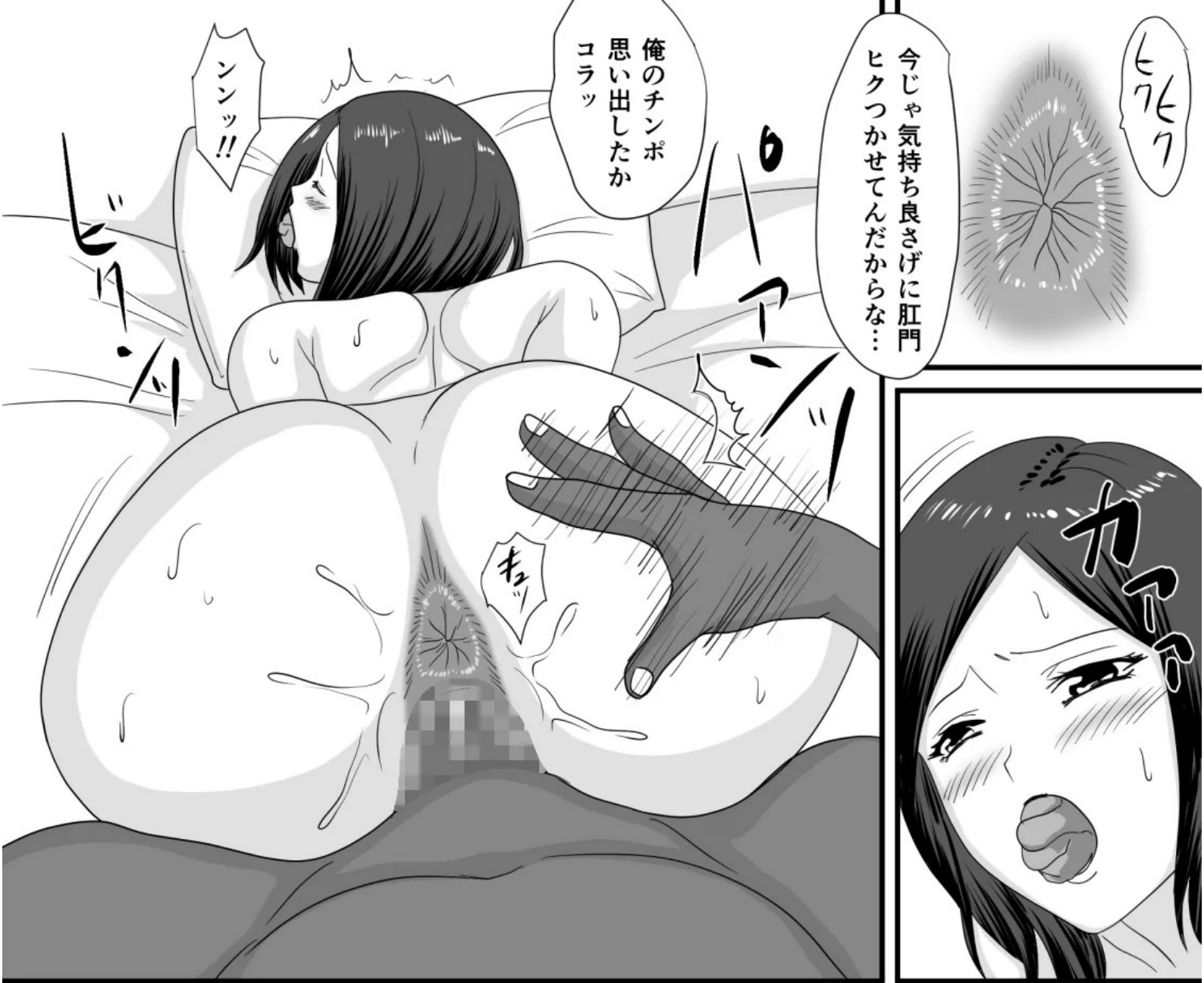
ズキッ
ズキッ

最初は痛い痛い
と泣き喚くだけだった小娘が…

やッあッ!!

痛あッ!!

ズキッ
ズキッ





悪い夢ならどれだけ
良かっただろう...

しかし膣内で摩擦を続ける
ペニスの熱さが...これが
まぎれもない現実だと
痛感させる...



今はただこの恥辱が
終わるのを
耐えて待つしか...



...ジキッ...

んっ♡

ズキッ♡

んっ♡

気持ちいい...

ズキッ

フキッ

ズキッ
ズキッ

ズキッ

フリッ



んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

心がこの卑劣な行為を許し始める...

妨げるものなどない
密着した粘膜の温もりと
カラダの芯を揺する律動が
甘い痺れとなって
全身を駆け巡り...

ズキッ

ズキッ

ズキッ

ズキッ



こんなこと絶対に許しちゃいけないのに...

ん♡
ガッ

フッ

フッ

フッ
フッ
フッ

フッ

ガッ

ん♡



チャッ
チャッ

チャッ
チャッ
チャッ

チャッ



逃げ場のない快感が体を支配し、もはや抗うことさえ無意味だと悟らされる...

ん♡

ん♡

ん♡

フッ
フッ
フッ

フッ
フッ
フッ



フッ

フッ

無理やり突っ込まれて
被害者ぶってるが
しっかり感じてるな…

本当はあのガキの粗チンじゃ
満足できなかったんだろ？

俺が散々抱いてイキ癖を
つけてやった完全ナマ派の
スケベマンコだもんな？

んっ♡
パキッ

んっ♡

パキッ

パキッ

んっ♡

んっ♡



ゴム姦じゃ
イケなかったろ？

お前のカラダはもう
俺のじゃないと
満足できねえんだよ…

パキッ

パキッ

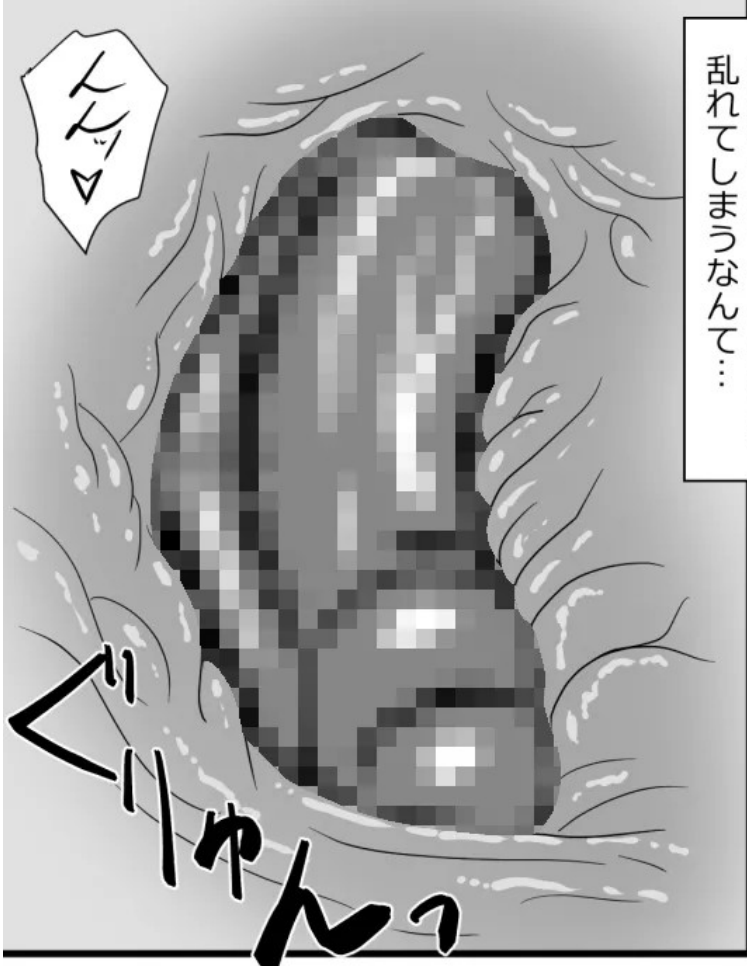
パキッ

パキッ

パキッ

んっ♡
んっ♡





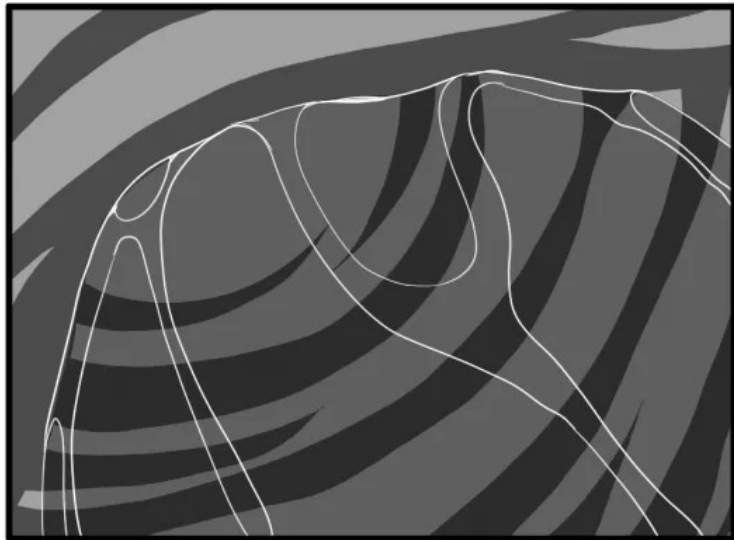
悔しい…
女なら仕方ないことだと
分かっているてもこんなにも
乱れてしまうなんて…



無遠慮に膣内を
食い荒らすような
腰の動きにも
悦びの声を
上げてしまう…

これだろ？
これがイイんだろ？

もう忘れていたと思っただのに
私のカラダはこの男の乱暴な
セックスを覚えていた…







だめ…また大きいのがきそう…
このままでは妊娠してしまうと
分かっているのに抑え切れない
衝動に理性が遠のいていく…

大きくこじ開けて絶頂へと誘う
遅い挿入を拒み切れない…



ブツッ

ブツッ
ブツッ

グッ

ブツッ

ガッ
ガッ

ガッ

イク…イク…ッ

んっ
んっ

んっ

んっ

イク…ッ

んっ
んっ

んっ



イックウミッ♡





結果を恐れながらも
その瞬間の快楽に逆らえず…
絶頂を迎えた悦びに膣内射精の
熱を感じながら腰をしゃくりあげる…

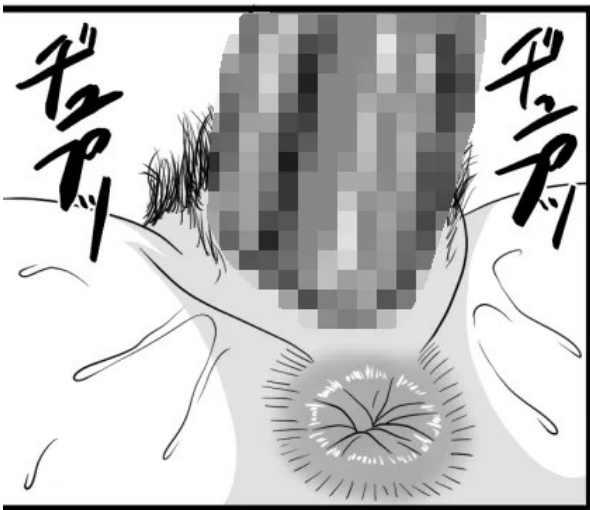


どうだ？
ガキの幼稚なセックスとは
モノが違うだろうが…



これで終わりじゃねえぞ？
孕むまで注ぎ込んでやる…

んっ
んっ
んっ





亜子さん……？

なんだ……？
今の声……



声がる方へ近づくとつれ、
それが何の声なのか徐々に分かってくる……

この声ってアレの時のじゃないか……？

ん……

あ……



診察室の方から聞こえる……

はあ……

ん……



それでも確かめずには
いられなかった……

あ……

あ……



そこで起こっていることを
見てしまえばきつと後悔する……

暗闇の中に浮かぶ
診察室のドアの向こう……

ん……

はあ……

あ……

ん……

ん……



なんだ？
あれ...



ここで見たのは
トロけた表情で
あの男にしがみつき、
快楽に溺れる
亜子さんの姿だった...

ユサッ

ユサッ

ユサッ

ユサッ

ユサッ

あーあー
あーあー

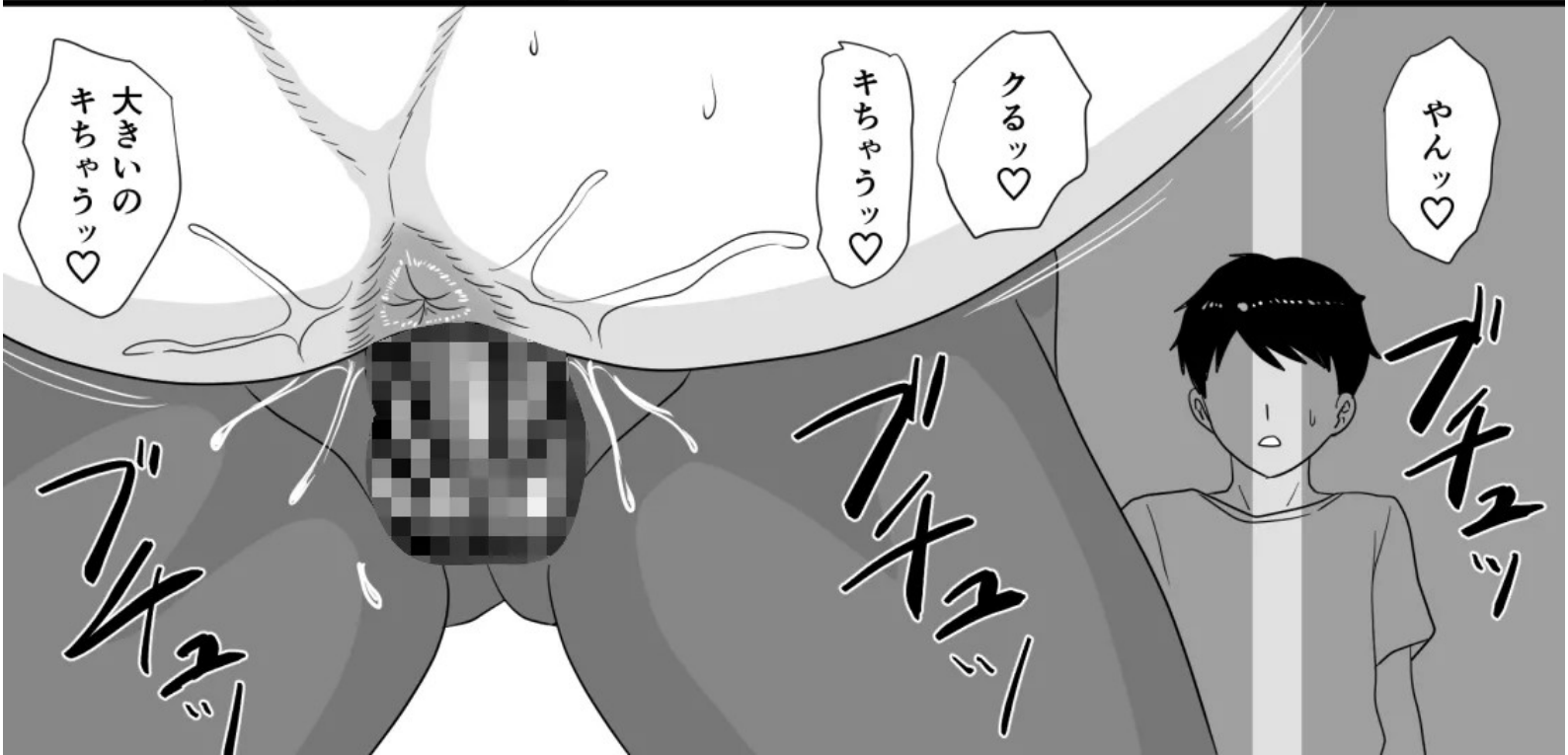
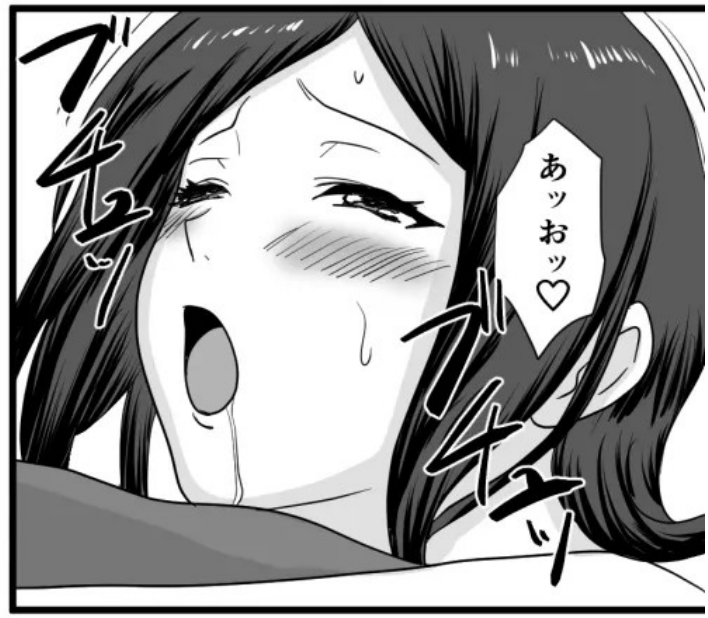
あー

あー

グ
グ
グ
グ
グ
グ

グ
グ
グ
グ
グ
グ







あんなのが
亜子さんの
膣内に…ッ

デカイツ!!

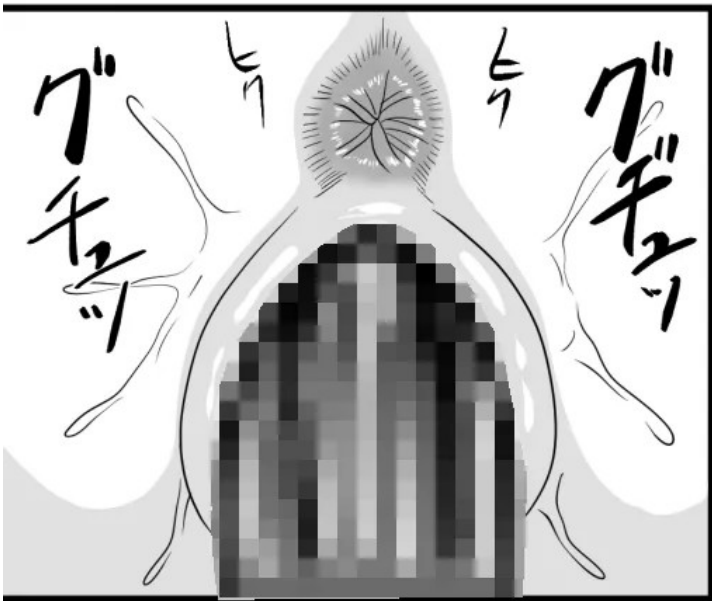


それを見た瞬間、
部屋に踏み込んで
やめさせようとする
気持が揺らぎ、
躊躇してしまった…

ドア一枚を隔てた先で
愛する女性が犯されてるのに
嫌がるどころかアイツの上に
跨り、揺さぶられるままに
なっている亜子さんの恍惚とした
表情が目に入る…



初めて目の当たりにする
大人の本気セックス…



その激しさや下品さはセックスというより
本能だけの動物の交尾そのものだった…

いつも優しく可愛らしかった
亜子さんを
あそこまで肉欲に溺れさせる…

屈辱と敗北感を覚えながらも
俺の股間は痛いほど硬くなっていた…

キンッ
キンッ





男は亜子さんのオマンコに巨根を
深々と突き立てて誰が主人なのかを
カラダの芯まで教え込んでいく…

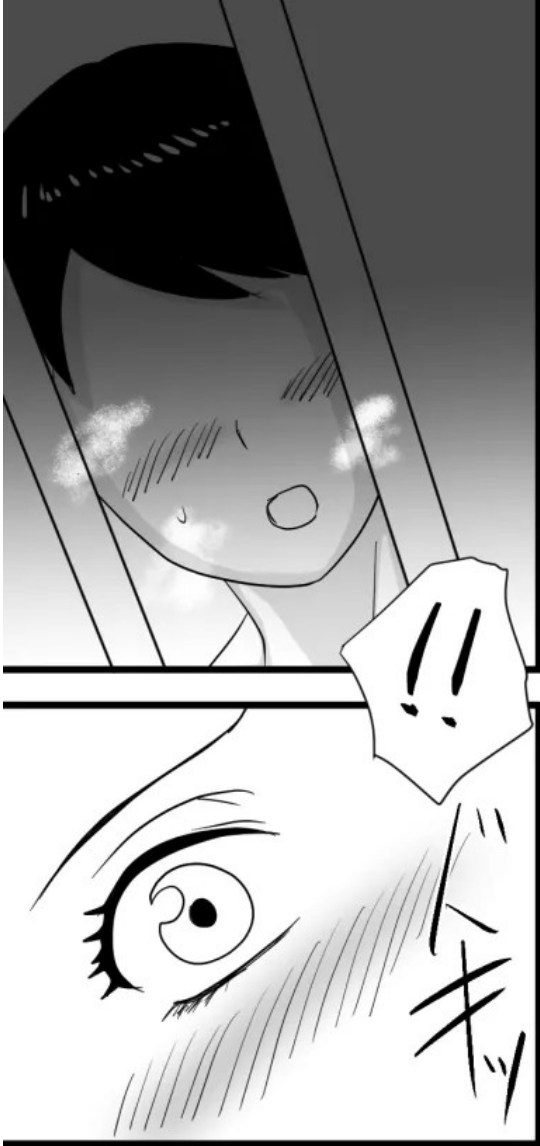


亜子さんが精液を飲むのも
お掃除フェラをしてくれるのも
あの男にそう仕込まれてたからなんだ…



あれが強い男に
抱かれた時に見せる
女の本当の顔…









あんあッ♡

あ…いッ♡

あッ♡

は…ッ♡

ブシュー

ブシュー



屈辱的な格好で乱暴な挿入に晒されているにもかかわらず 亜子さんの声は艶を帯びたものに変わっていった：

あッあッ♡

はあんッ♡

ブシュー

ブシュー



ああ——ッ♡

ビクッ♡

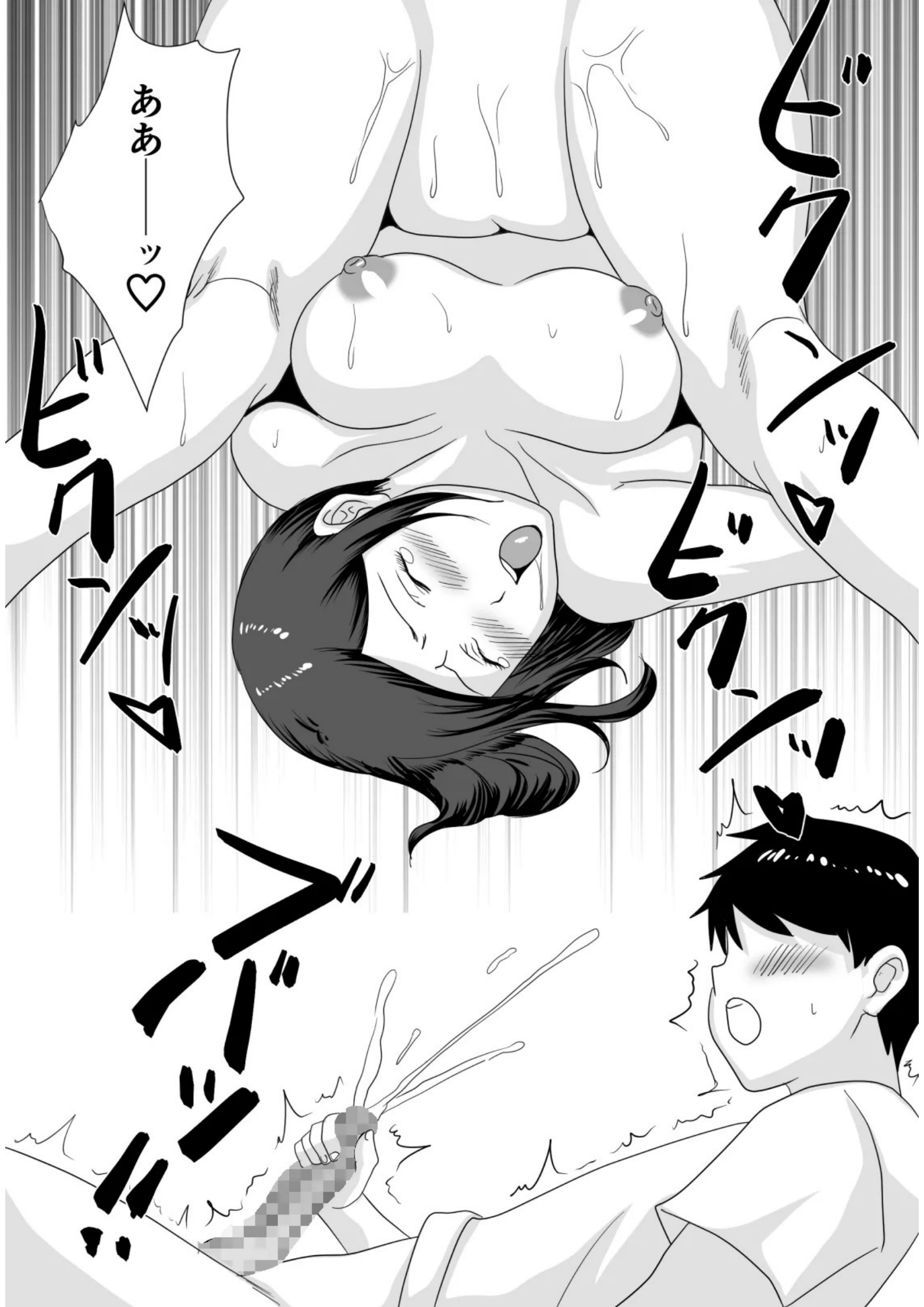
ビクッ♡

ビクッ♡

ビクッ♡

ビクッ♡

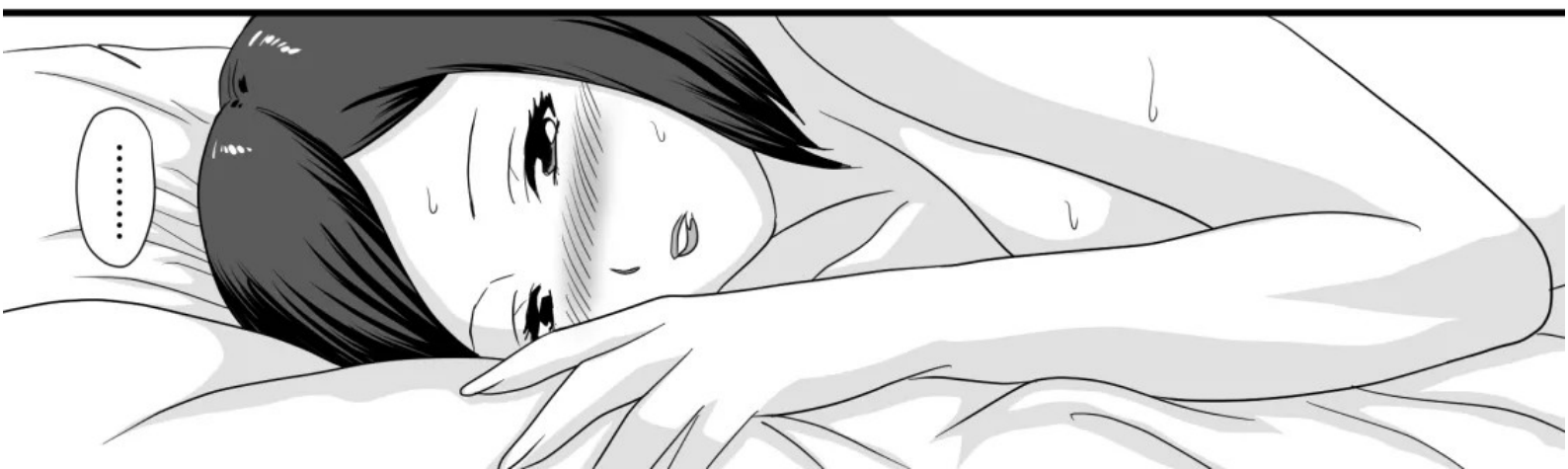
ビクッ♡



ガアアアア

へっ!
あのガキ
お前がイカされるのを見ながら
抜いていきやがったぞ

情けねえ野郎だな
おい



その場から逃げ出した俺は
真っ暗な嵐の中を
爺ちゃんたちの家まで
ひたすら走った…

激しい雨音に混じる
亜子さんの喘ぎ声を
耳にしながら…

そして二度と亜子さんに
会うことはなかった…



しばらく経って
亜子さんが妊娠したと
聞かされた…

きっとあの夜に孕まされたんだ…

そして今でも
雨が降るたびに思い出す…



アアアッ

みっともない恰好で悦びの声を上げながら
種を植え付けられる亜子さんの姿を：

